

移住・交流に関するアンケート

集計・分析結果

秩父市

目次

1. 調査概要.....	1
1.1 調査の目的.....	1
1.2 調査対象と調査方法.....	1
1.3 調査票の構成.....	1
1.4 回収状況.....	2
1.5 クロス集計対象.....	2
1.6 豊島区民意調査との比較.....	2
2. 集計結果.....	3
2.1 回答者の属性等について.....	3
2.2 地域の人口減少について.....	10
2.3 市外から秩父市への移住について.....	16
2.4 定住等について.....	41
2.5 CCRC について.....	47

1. 調査概要

1.1 調査の目的

「秩父市生涯活躍のまちづくり構想」策定のための基礎資料として、市民の意向を把握すべく、18歳から80歳までの市民の方から無作為に選ばせていただいた方を対象として、ご意見やご要望をうかがうためアンケート調査を実施する。

1.2 調査対象と調査方法

◆調査対象

秩父市民（無作為抽出された3,000名）

◆調査時期

平成28年7月28日（木）～平成28年8月24日（水）

◆調査方法

郵送にて調査票を配布し、紙の調査票で郵送回答されたものを集計。

1.3 調査票の構成

調査票の設問内容は表1-1のとおりで、調査票の全体構成は図1-1のとおりである。

表1-1 調査票の構成

分類	設問内容
回答者の属性等について	問1：回答者の年齢
	問2：回答者の性別
	問3：回答者の職業
	問4：回答者の世帯構成
	問5：生まれてからの秩父市での居住状況
	問6：秩父市に住んでいる通算年数
	問7：回答者が住んでいる地域
地域の人口減少について	問8：人口減少の問題意識の有無
	問9：人口減少による不安
	問10：人口減少への対策
市外から秩父市への移住について	問11：市外からの移住者の住みやすさ
	問12：都市部からの移住を受け入れるにあたっての強み
	問13：都市部からの移住を受け入れるにあたっての弱み
	問14：市外からの移住者の受入に関する意識
	問15：市外から移住者を受け入れるべきと思う理由
	問16：移住者として受け入れてもよい年齢層
	問17：移住者として受け入れてもよい人物像
	問18：市外からの移住者との交流に関する意識
	問19：市外からの移住者への支援活動に関する意識
	問20：市外からの移住者を受け入れるにあたっての不安

表 1-1 調査票の構成（続き）

分類	設問内容
定住等について	問 2 1 : 秩父市の定住意向
	問 2 2 : 介護が必要になった場合の希望する居住形態
	問 2 3 : ケア付き集合住宅に関する意識
CCRCについて	問 2 4 : 都市部からの移住者への期待
	問 2 5 : 都市部住民との交流活動分野
	問 2 6 : 都市部住民との交流活動への参加意向
	問 2 7 : 豊島区との姉妹都市提携に関する認知度
	問 2 8 : 豊島区との交流活動の参加意向
	問 2 9 : その他ご意見

1.4 回収状況

回答数は 1,744、回答率は 58.1%であった。

1.5 クロス集計対象

クロス集計は、問 1～7 の回答者の属性に関する設問と、問 8～28 までの設問とのクロス集計（ $7 \times 21 = 147$ 通り）を実施した。

1.6 豊島区民意調査との比較

問 12、13、25 について、豊島区民意調査の結果より、両者の意識の違い等を分析した。また、巻末に参考資料として豊島区民意調査のうち、秩父市に関する箇所を抜粋して掲載している。

2. 集計結果

2.1 回答者の属性等について

問1 あなたの年齢について、お答えください。(1つに〇)

【選択肢】

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 6. 40～44歳 | 11. 65～69歳 |
| 2. 20～24歳 | 7. 45～49歳 | 12. 70～74歳 |
| 3. 25～29歳 | 8. 50～54歳 | 13. 75歳以上 |
| 4. 30～34歳 | 9. 55～59歳 | |
| 5. 35～39歳 | 10. 60～64歳 | |

「65～69歳」が15.4%と最も多く、次いで「60～64歳」が11.8%、「55～59歳」「75歳以上」が9.9%と続いている。60歳以上で5割弱となっている。

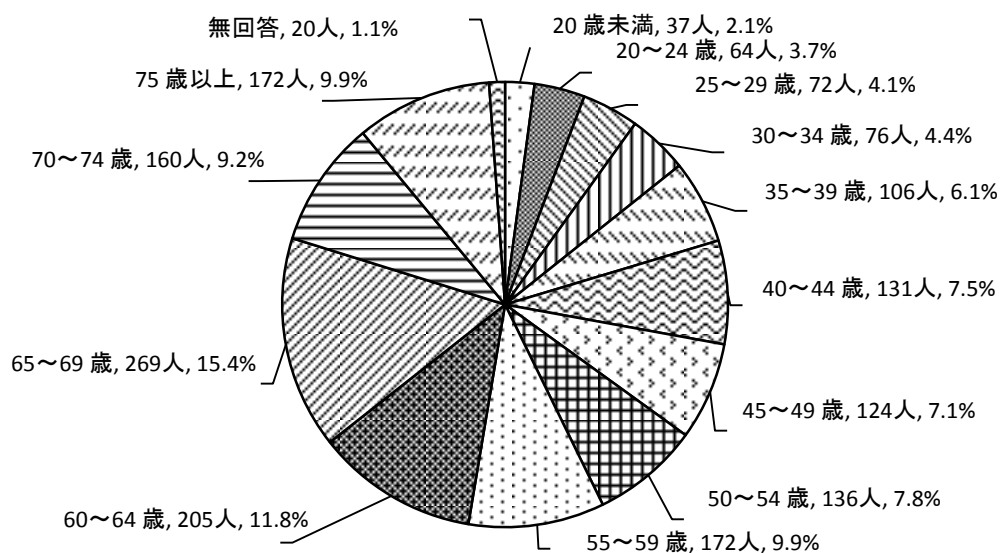


図 2-1 回答者の年齢

問2 あなたの性別について、お答えください。(1つに〇)

【選択肢】

1. 男性
2. 女性

「女性」が52.4%と多く、男性を若干上回っている。

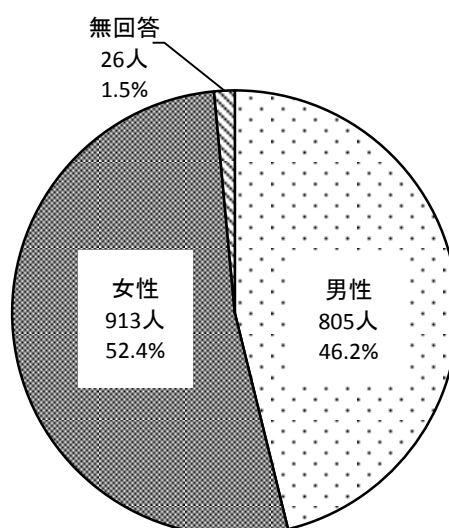


図 2-2 回答者の性別

問3 あなたの職業について、お答えください。(1つに〇)

【選択肢】

1. 自営業
2. 勤め(全日)
3. 勤め(パートタイム)
4. 専業の主婦(主夫)
5. 学生
6. 求職中
7. 年金生活
8. その他

「勤め(全日)」が30.2%と最も多く、次いで「年金生活」が24.3%、「勤め(パートタイム)」が14.5%と続いている。

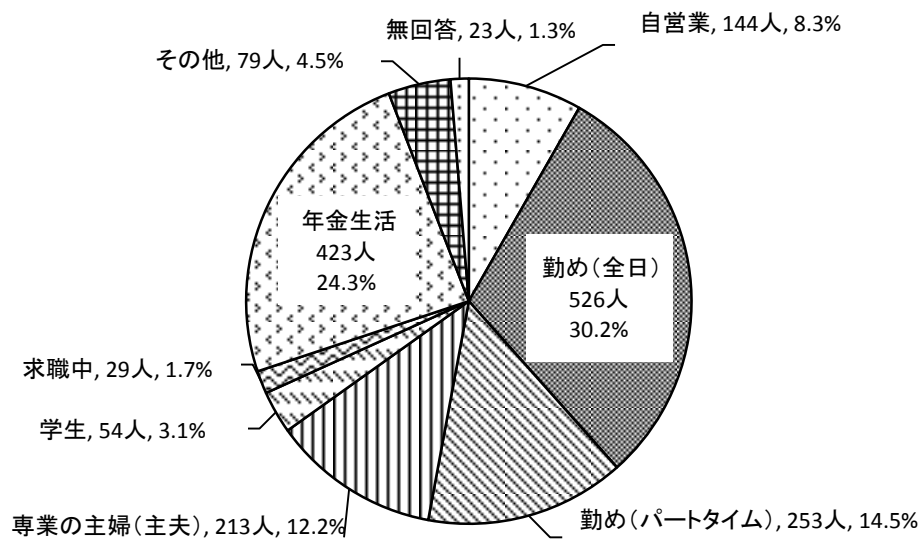


図 2-3 回答者の職業

問4 あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

【選択肢】

1. 単身者
2. 夫婦のみ
3. 親と子(二世帯)
4. 親と子と孫(三世帯)
5. その他

「親と子(二世帯)」が45.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が25.9%、「親と子と孫(三世帯)」が12.8%と続いている。

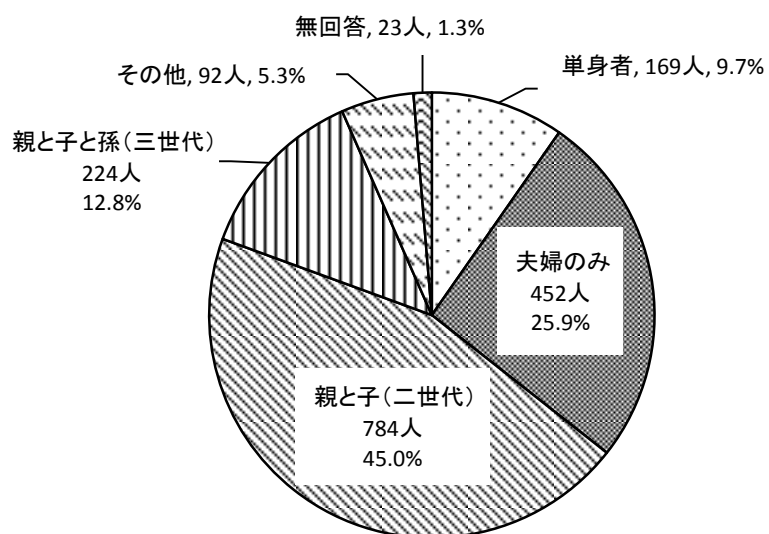


図 2-4 回答者の世帯構成

問5 あなたは生まれてから、ずっと秩父市にお住まいですか。(1つに〇)

【選択肢】

1. 秩父市で生まれ、ずっと住んでいる(一時的に秩父市を離れた人も含む)
2. 他の地域からきた

「秩父市で生まれ、ずっと住んでいる(一時的に秩父市を離れた人も含む)」が70.3%と7割以上を占めている。

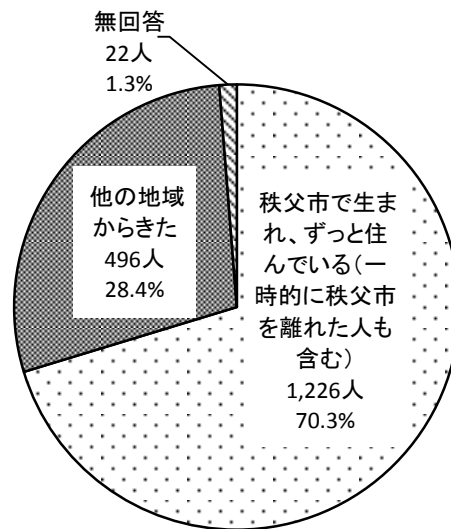


図 2-5 生まれてからの秩父市での居住状況

問6 あなたの秩父市にお住まいの通算年数について、お答えください。(1つに〇)

【選択肢】

1. 2年未満
2. 2年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上

「20年以上」が84.6%と最も多く、次いで「15年以上～20年未満」が5.5%、「5年以上～15年未満」「10年以上～15年未満」が3.0%と続いている。「20年以上」だけで8割を超えている。

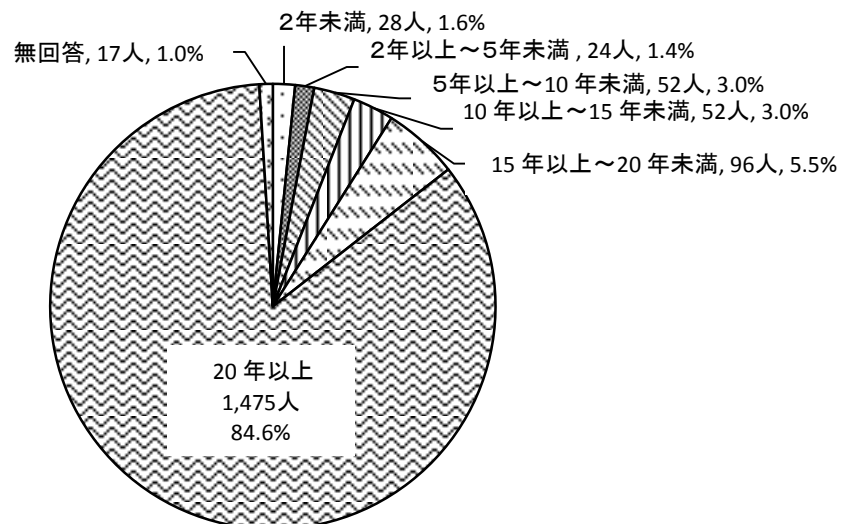


図 2-6 秩父市に住んでいる通算年数

問7 あなたのお住まいの地域について、お答えください。(1つに○)

【選択肢】

1. 中央地区(秩父第一小・花の木小・南小・西小 校区)
2. 尾田蒔地区
3. 原谷地区
4. 久那地区
5. 高篠地区
6. 大田地区
7. 影森地区
8. 浦山地区
9. 吉田地区
10. 大滝地区
11. 荒川地区

「中央地区」が 36.8%と最も多く、次いで「原谷地区」が 14.4%、「影森地区」が 10.7%と続いている。

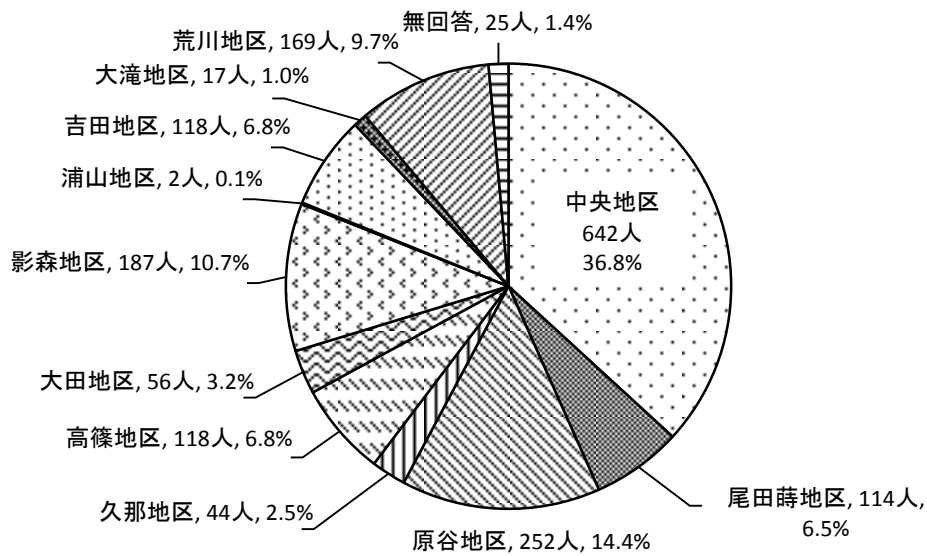


図 2-7 回答者が住んでいる地域

2.2 地域の人口減少について

問8 あなたは、秩父市の人口が減少することを問題だと思えますか。(1つに○)

【選択肢】

1. 問題だと思う
2. 問題だとは思わない
3. 問題があるともないとも思わない

【単純集計結果】

「問題だと思う」が 86.5%と最も多く、次いで「問題があるともないとも思わない」が 7.5%、「問題だとは思わない」が 4.2%と続いている。地域の人口減少に対する問題意識は高いと思われる。

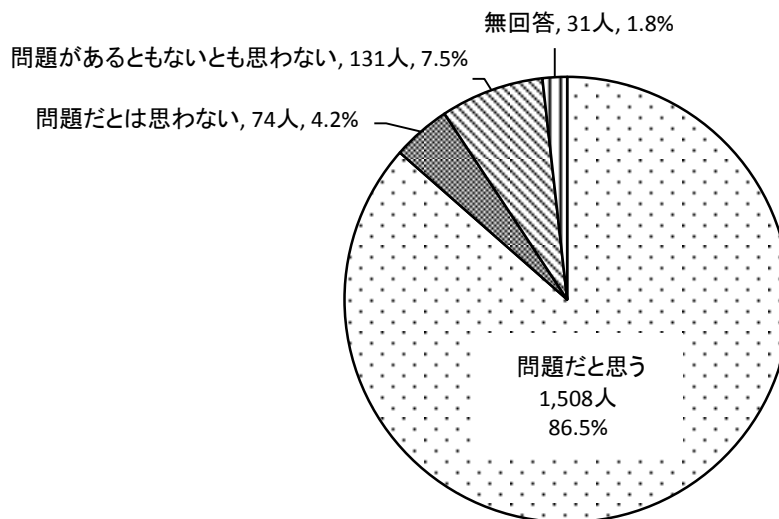


図 2-8 人口減少の問題意識の有無

【クロス集計分析】

人口減少に関する問題意識は、年代が高いほど高くなる傾向が見られる。また、比較的女性の方が問題意識は高い傾向が見られる。地域別では特に大きな傾向は見られない。

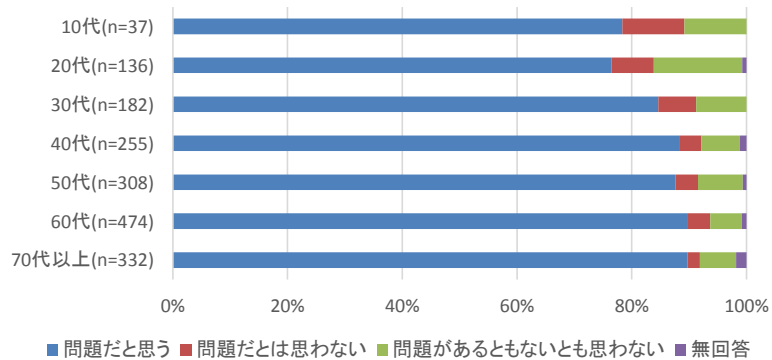


図 2-9 人口減少の問題意識の有無（年代別集計）

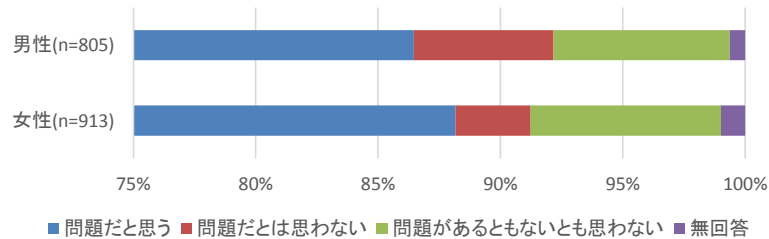


図 2-10 人口減少の問題意識の有無（性別別集計）

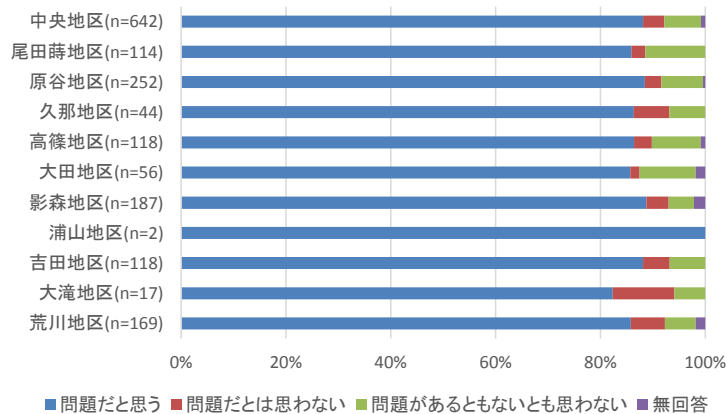


図 2-11 人口減少の問題意識の有無（地区別集計）

問9 人口が減少することによりどのようなことに不安を感じますか。(いくつでも○)

【選択肢】

1. まちの活気が失われる
2. まちの労働力が低下する
3. 地元での消費が落ち込む
4. 社会保障等の公的サービスが低下する
5. 交通の利便性が低下する
6. 医療や福祉等の施設がなくなる
7. 特に不安に感じることはない
8. その他

【単純集計結果】

「まちの活気が失われる」が 75.5%と最も多く、次いで「まちの労働力が低下する」が 55.0%、「医療や福祉等の施設がなくなる」が 53.2%と続いている。

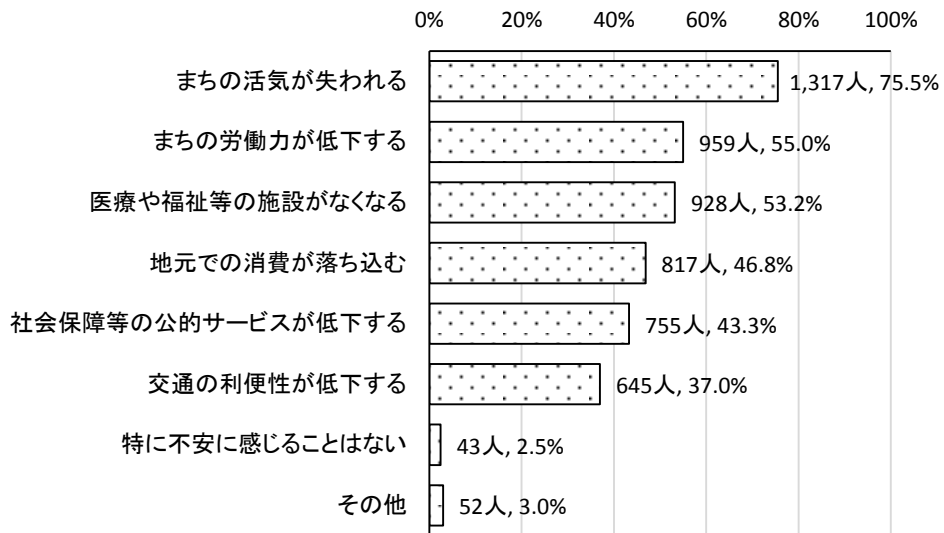


図 2-1 2 人口減少による不安

【クロス集計分析】

人口減少の不安は、年代別では、「まちの活気が失われる」は10代・70代以上が高く、40代が低い。性別別では、「まちの活気が失われる」は男性の方が高い。地域別では特に大きな傾向は見られない。

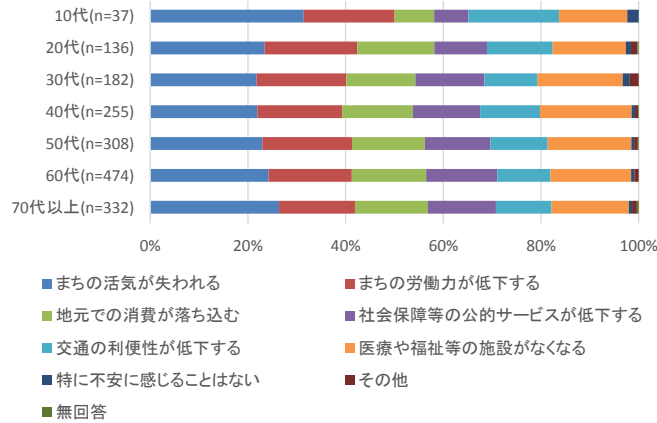


図 2-13 人口減少による不安（年代別集計）

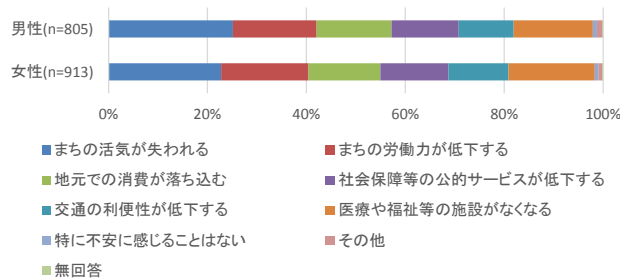


図 2-14 人口減少による不安（性別別集計）

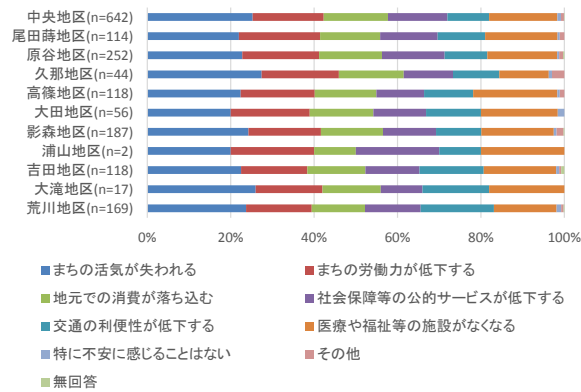


図 2-15 人口減少による不安（地区別集計）

問 10 人口減少への対策として、重要だと思うことは何ですか。(いくつでも○)

【選択肢】

1. 出産・子育て環境を改善する
2. 出生率を伸ばす
3. 現在市内に住む人にとっての魅力を向上させ、市外への人口流出を防ぐ
4. 都市部に住む人にとっての魅力を向上させ、市外からの人口流入を増やす
5. その他

【単純集計結果】

「現在市内に住む人にとっての魅力を向上させ、市外への人口流出を防ぐ」が 68.3%と最も多く、次いで「出産・子育て環境を改善する」が 65.0%、「都市部に住む人にとっての魅力を向上させ、市外からの人口流入を増やす」が 41.9%と続いている。今のところ、現在住んでいる人たちが人口減少問題の解決を図ることに関心が集まっていると思われる。

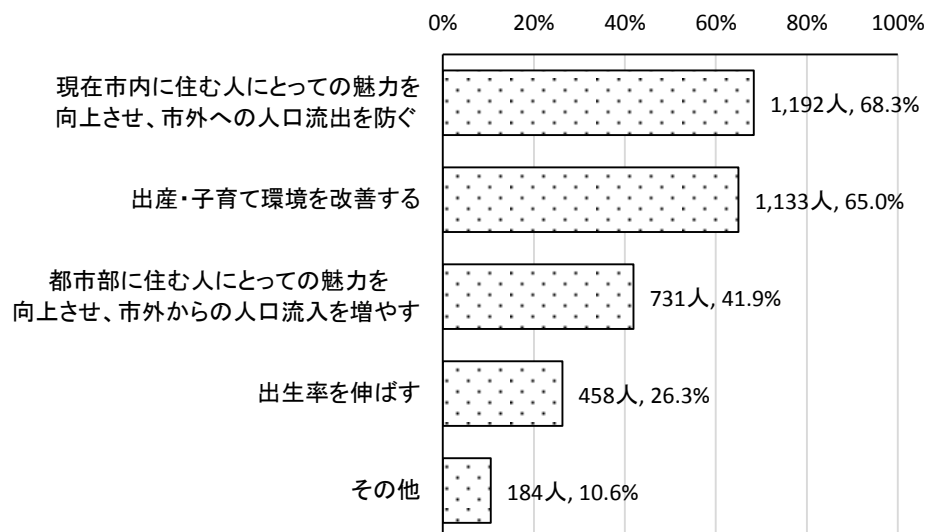


図 2-16 人口減少への対策

【クロス集計分析】

人口減少対策として重要だと思うことは、30代以下は「出産・子育て環境を改善する」が高く、40代以上は「市外への人口流出を防ぐ」が高い。性別別、地域別では特に大きな傾向は見られない。

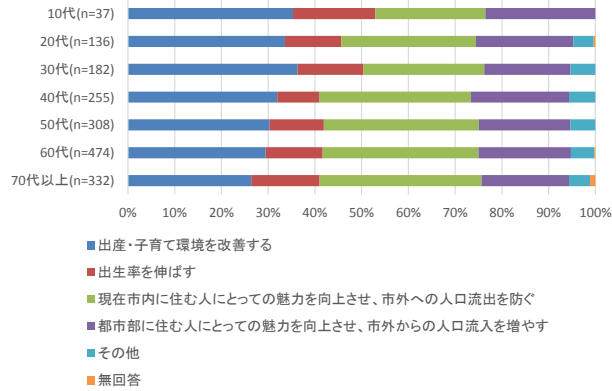


図 2-17 人口減少への対策（年代別集計）

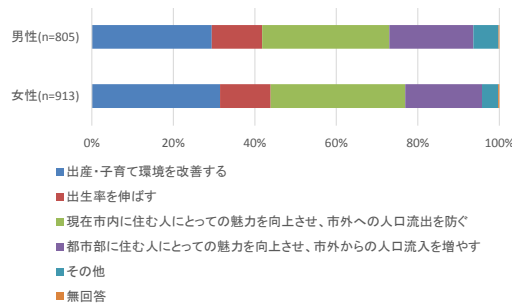


図 2-18 人口減少への対策（性別別集計）

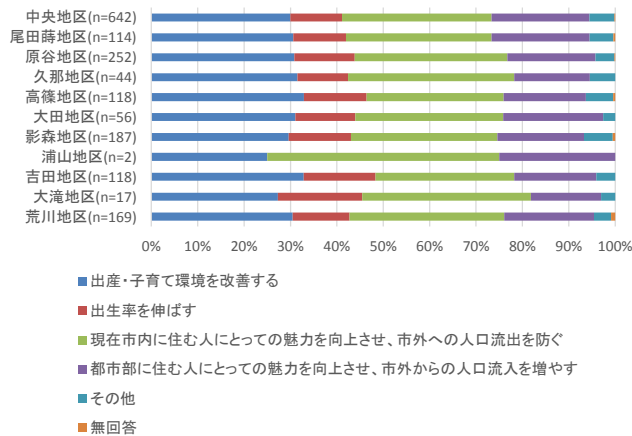


図 2-19 人口減少への対策（地区別集計）

2.3 市外から秩父市への移住について

問 11 秩父市は市外からの移住者が住みよいと思いますか。(1つに○)

【選択肢】

1. 住みよいと思う
2. どちらかという住みよいと思う
3. どちらかという住みよくないと思う
4. 全く住みよくないと思う

【単純集計結果】

「どちらかという住みよいと思う」が44.0%と最も多く、次いで「どちらかという住みよくないと思う」が35.4%、「住みよいと思う」が13.9%と続いている。「住みよいと思う」と「どちらかという住みよいと思う」をあわせると6割弱となる。

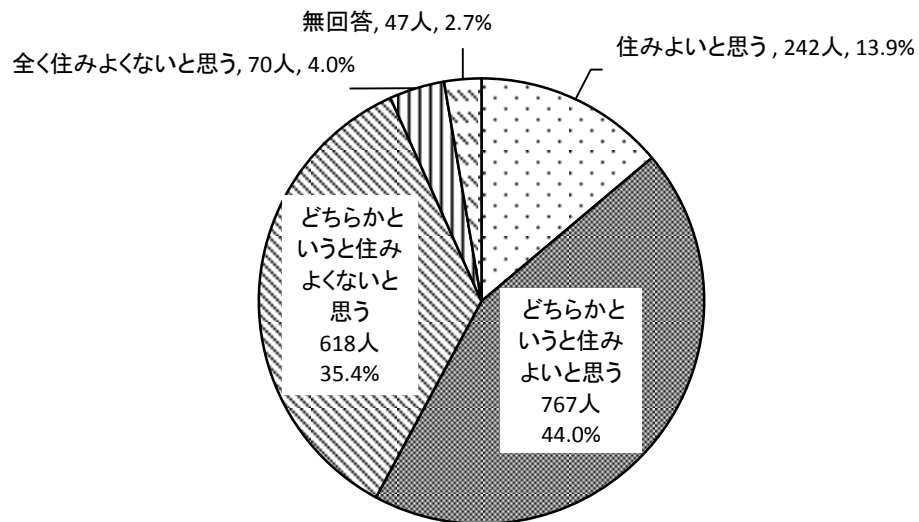


図 2-20 市外からの移住者の住みやすさ

【クロス集計分析】

秩父市の住みよさは、年代別では「住みよいと思う」「どちらかという住みよいと思う」を合わせると、年代が高いほど高くなる傾向が見られる。性別別では「住みよいと思う」は男性の方が高いが、「どちらかという住みよいと思う」まで含めると特に大きな傾向は見られない。地区別では久那地区、大滝地区が高い。

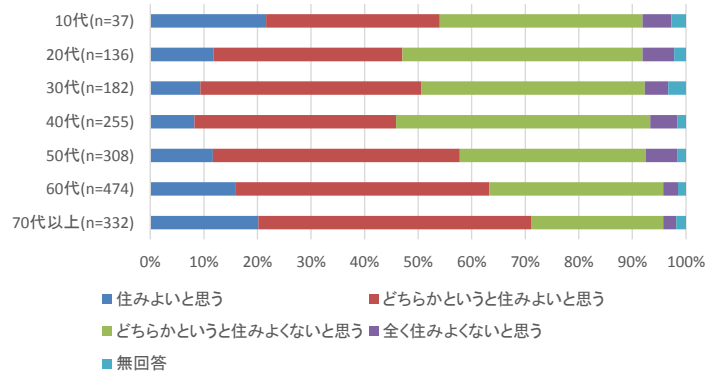


図 2-21 市外からの移住者の住みやすさ (年代別集計)

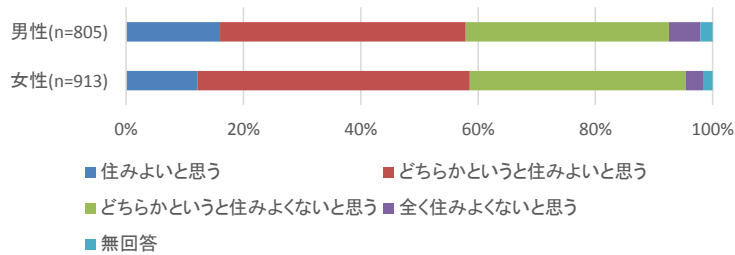


図 2-22 市外からの移住者の住みやすさ (性別別集計)

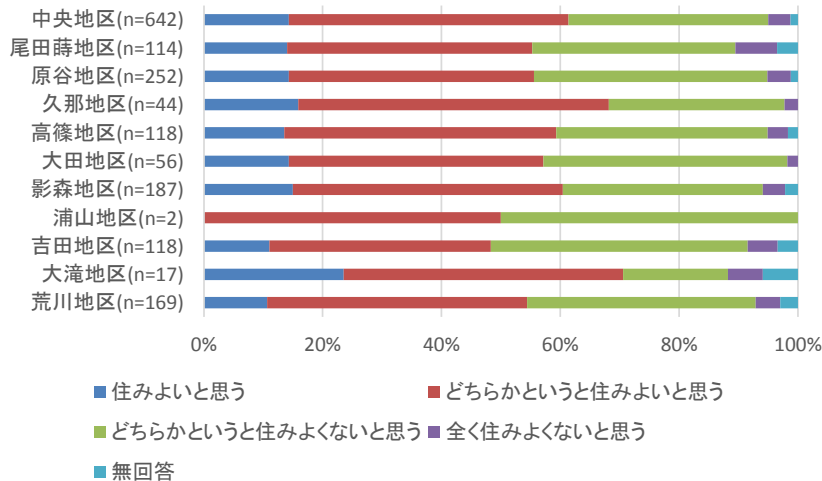


図 2-23 市外からの移住者の住みやすさ (地区別集計)

問12 都市部からの移住を受け入れるにあたり、秩父市の強みは何だと思いますか。(いくつかでも)

【選択肢】

1. 住まい環境
2. 交通の利便性
3. 自然環境（水、緑、公園等）
4. 生活環境（買い物等）
5. 雇用機会
6. 地域文化（伝統、歴史、祭）
7. 医療・福祉
8. 地域交流（地域のつながり）
9. 出産・子育て・教育環境
10. 家賃・物価
11. 治安・防災
12. その他

【単純集計結果】

「自然環境（水、緑、公園等）」が 81.6%と最も多く、次いで「地域文化（伝統、歴史、祭）」が 50.6%、「治安・防災」が 30.4%と続いている。

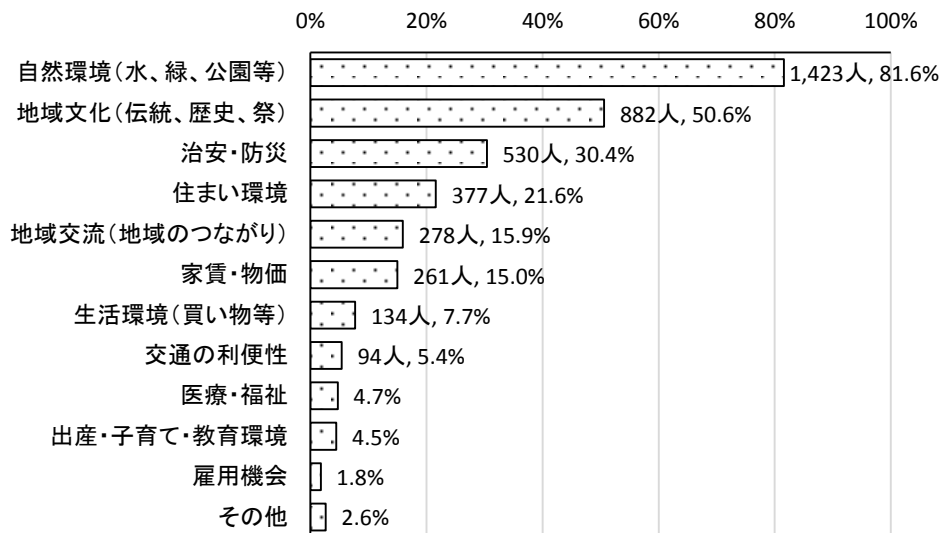


図 2-2 4 都市部からの移住を受け入れるにあたっての強み

【クロス集計分析】

秩父市の強みは、「自然環境」はどの年代でも高く、「地域文化」は若い世代が高い。性別別、地区別では特に大きな傾向は見られない。

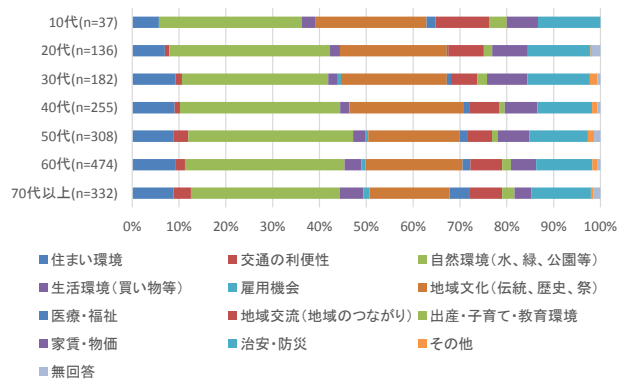


図 2-25 都市部からの移住を受け入れるにあたっての強み（年代別集計）

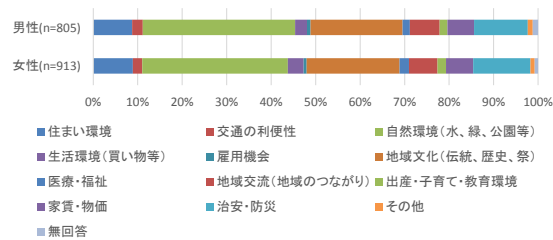


図 2-26 都市部からの移住を受け入れるにあたっての強み（性別別集計）

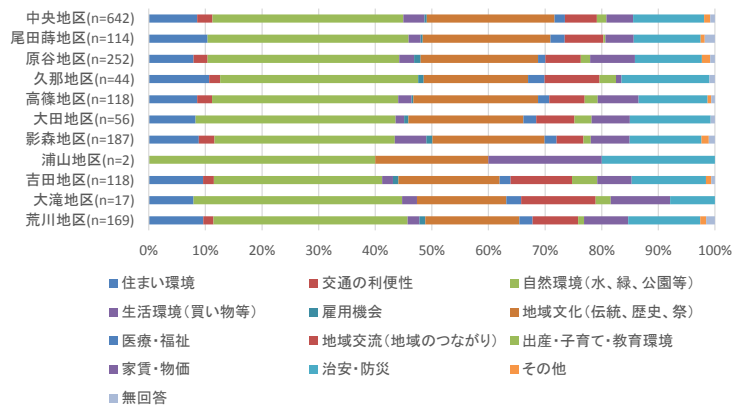


図 2-27 都市部からの移住を受け入れるにあたっての強み（地区別集計）

【豊島区民意識調査との比較】

地方に移住してみたいと思うかを聞いたところ、「移住してみたい」（13.8%）と「どちらかというに移住してみたい」（18.9%）を合わせた“移住してみたい”は32.7%となった。

“移住してみたい”と回答した人に、地方への移住を考える理由を聞いたところ、「自然の多い環境で暮らしたいから」が51.8%と最も高く、次いで「食べ物や水、空気がおいしいから」（40.8%）、「健康的な生活がしたいから」（32.8%）、「スローライフを実現したいから」（32.6%）、「生活コストが安いから」（29.6%）、「出身が地方だから」（29.1%）の順で続いている。

秩父市民が考える最も多い秩父の強みが「自然環境（水、緑、公園等）」であることを考えると、豊島区民の移住に関するニーズと合っていると考えられる。

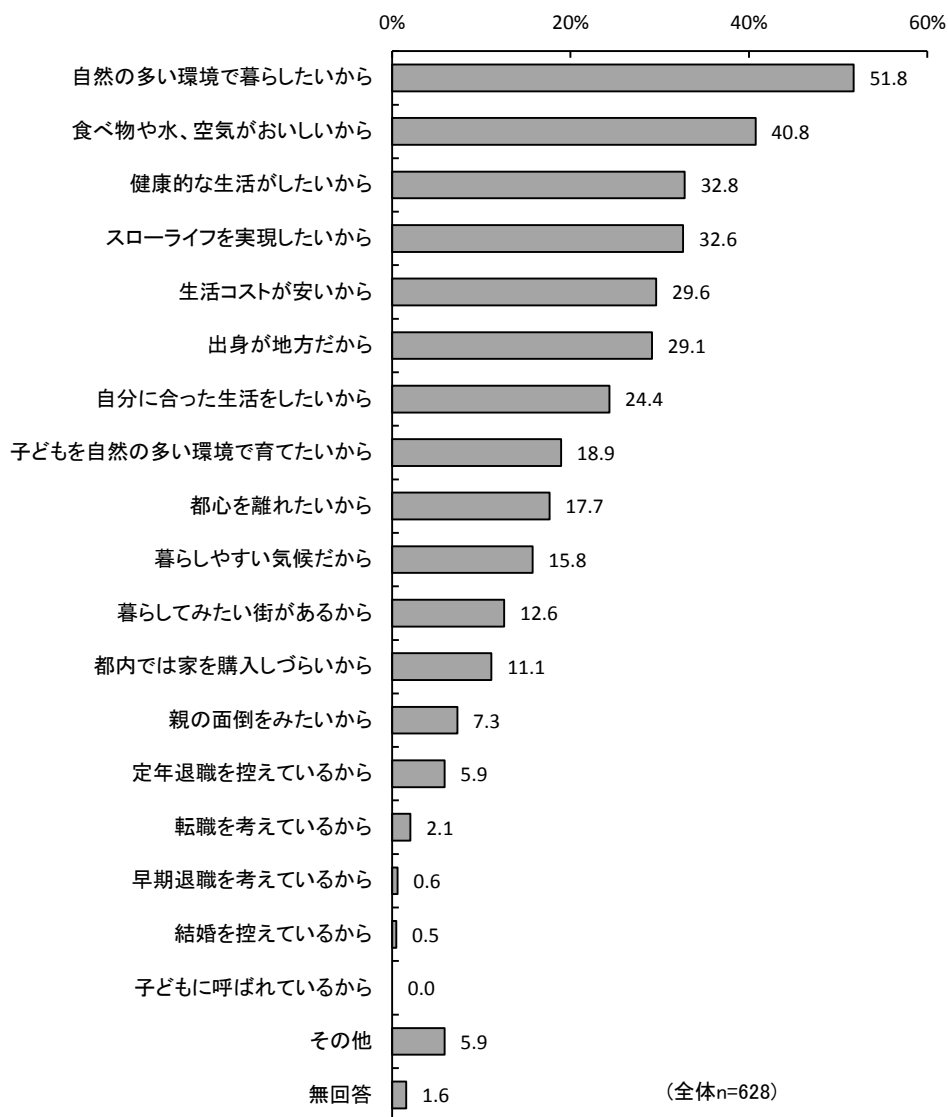


図 2-28 地方への移住を考える理由（豊島区民意識調査）

“移住してみたい”と回答した人に、地方への移住を検討する上で重視する点を聞いたところ、「住まいの環境」が59.2%と最も高く、次いで「生活コスト」(54.6%)、「自然環境」(52.2%)、「治安」(47.0%)、「交通の利便性」(43.6%)、「買い物の利便性」(43.2%)の順で続いている。

秩父市民が秩父の強みの中で、「治安・防災」は上位3位に入っているものの、「住まいの環境」、「家賃・物価」、「交通の利便性」はそれほど強みと感じている市民はおらず、秩父市の移住を推進する上で課題であると考えられる。

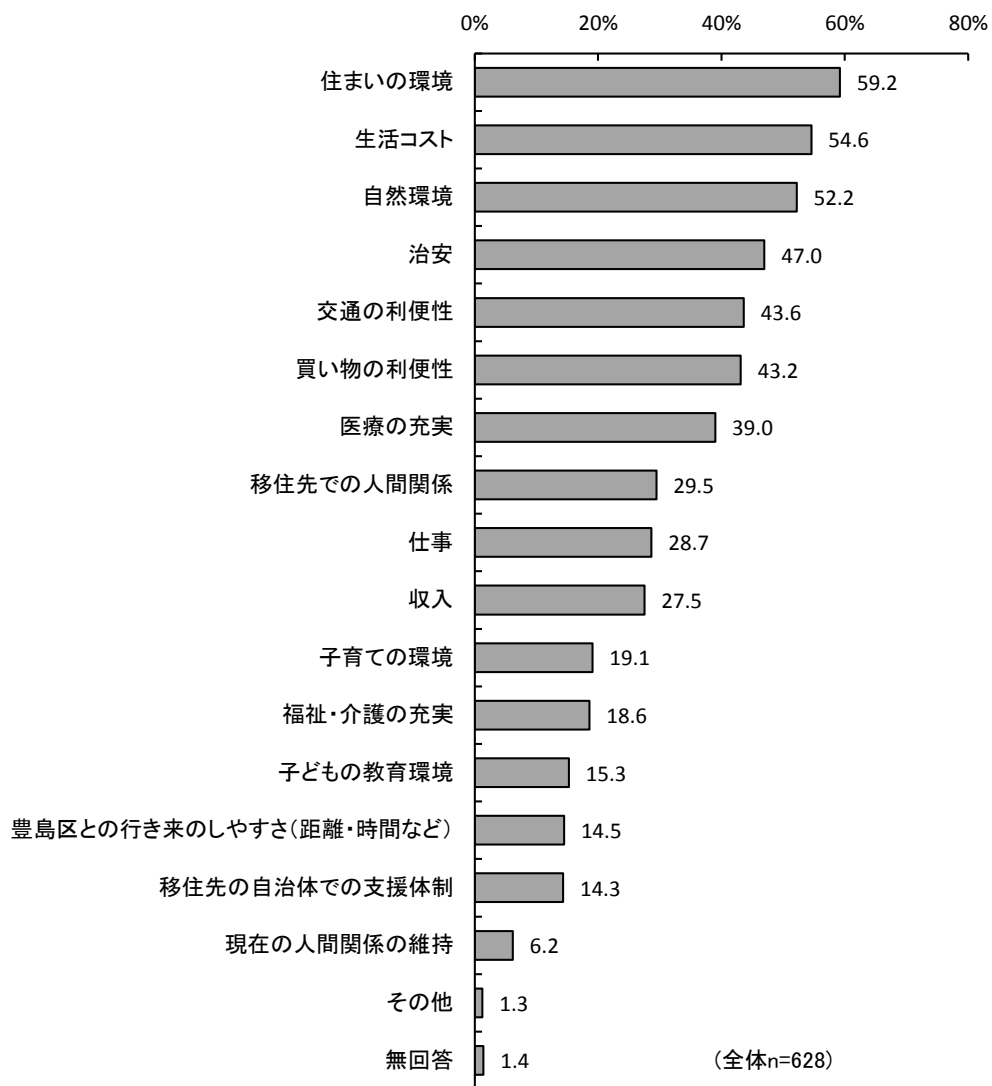


図 2-29 地方への移住を検討する上で重視する点 (豊島区民意識調査)

“移住してみたい”と回答した人に、姉妹都市であり移住に関する取組を連携して検討している埼玉県秩父市へ移住してみたいと思うかを聞いたところ、「秩父市に移住してみたい」(4.0%)と「どちらかという秩父市に移住してみたい」(16.1%)を合わせた“秩父市に移住してみたい”は20.1%となっている。

“秩父市に移住してみたい”と回答した人に、どのような理由で秩父市へ移住したいと思うかを聞いたところ、「自然が豊かだから」が87.3%と特に高く、次いで「豊島区と行き来しやすいから」(42.9%)、「観光でよく行くから」(18.3%)、「親しみのある場所だから」(17.5%)、「趣味を楽しめる場所だから」(15.1%)の順で続いている。

秩父市民が考える最も多い秩父の強みが「自然環境(水、緑、公園等)」であることを考えると、豊島区民の秩父市に対するイメージと合っていると考えられる。

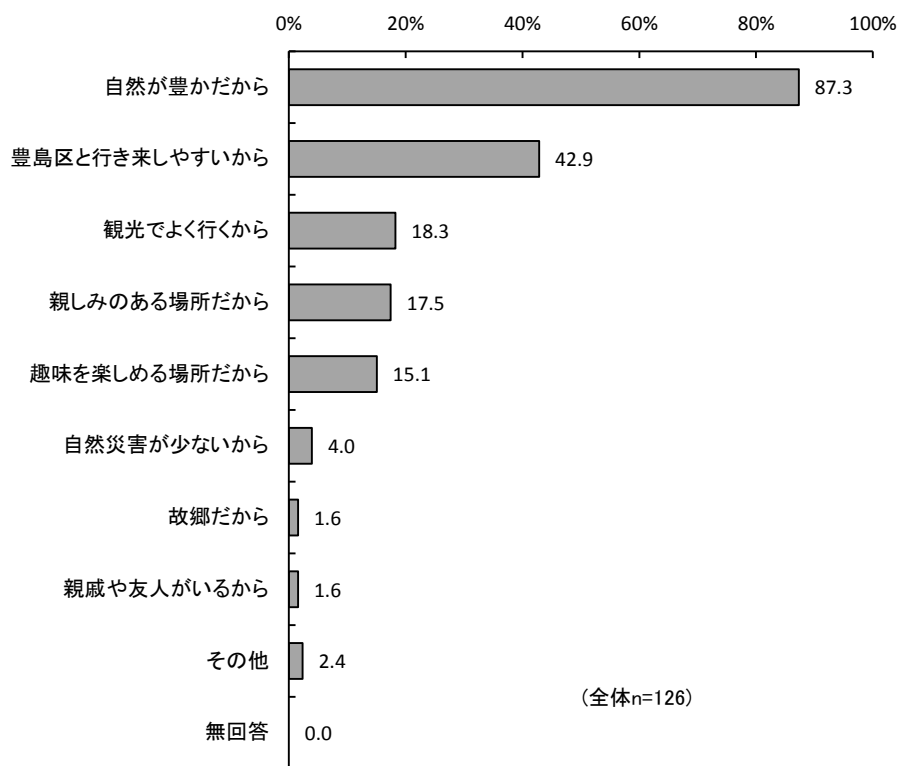


図 2-30 秩父市に移住したい理由 (豊島区民意識調査)

問13 都市部からの移住を受け入れるにあたり、秩父市の弱みは何だと思いますか。(いくつでも)

【選択肢】

1. 住まい環境
2. 交通の利便性
3. 自然環境（水、緑、公園等）
4. 生活環境（買い物等）
5. 雇用機会
6. 地域文化（伝統、歴史、祭）
7. 医療・福祉
8. 地域交流（地域のつながり）
9. 出産・子育て・教育環境
10. 家賃・物価
11. 治安・防災
12. その他

【単純集計結果】

「雇用機会」が 74.3%と最も多く、次いで「交通の利便性」が 63.8%、「医療・福祉」が 46.9%と続いている。

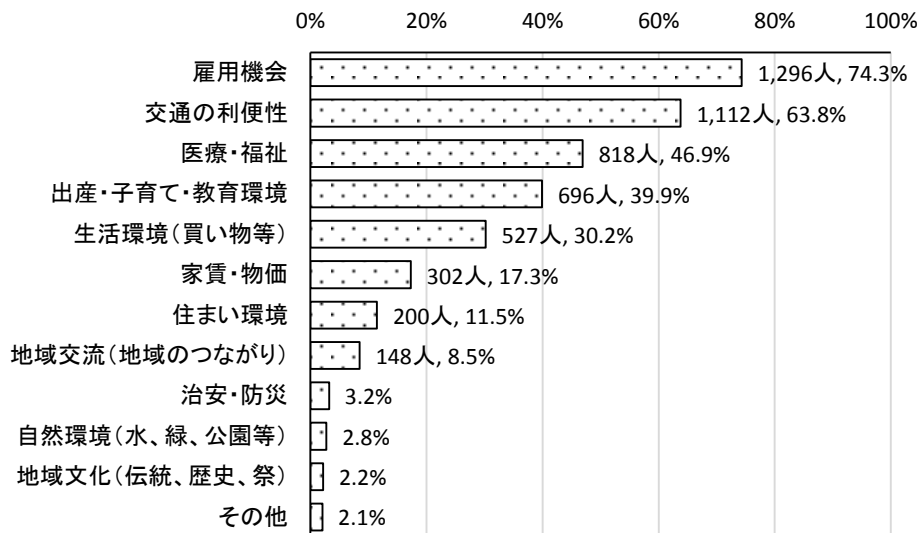


図 2-3 1 都市部からの移住を受け入れるにあたっての弱み

【クロス集計分析】

秩父市の弱みは、若い世代ほど「交通の利便性」が高く、年代が高くなるほど「雇用機会」が高くなる傾向が見られる。性別別、地区別では特に大きな傾向は見られない。

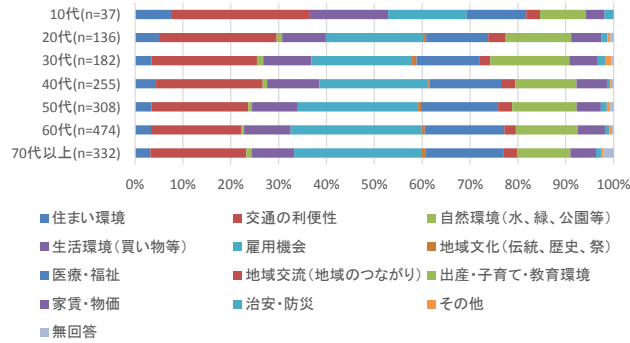


図 2-3-2 都市部からの移住を受け入れるにあたっての弱み

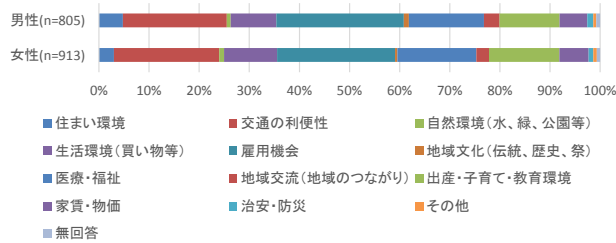


図 2-3-3 都市部からの移住を受け入れるにあたっての弱み

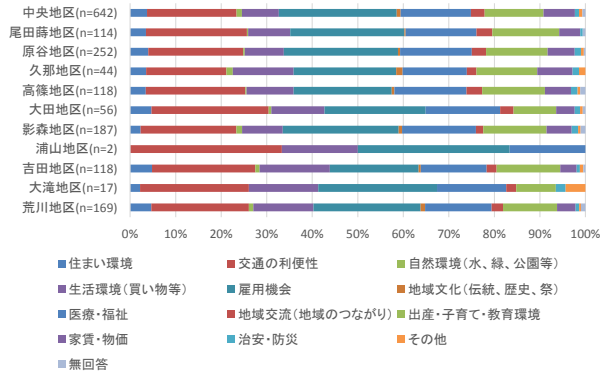


図 2-3-4 都市部からの移住を受け入れるにあたっての弱み

【豊島区民意識調査との比較】

地方に移住してみたいと思うかを聞いたところ、「移住してみたい」(13.8%)と「どちらかというに移住してみたい」(18.9%)を合わせた“移住してみたい”は32.7%となった。

“移住してみたい”と回答した人に、地方に移住する場合に不安に思うことを聞いたところ、「交通の利便性がよくないこと」が53.0%と最も高く、次いで「買い物の利便性がよくないこと」(40.9%)、「医療が十分でないこと」(35.7%)、「移住先での人間関係づくり」(35.0%)、「仕事が見つからないこと」(33.1%)、「収入が下がる可能性があること」(29.6%)の順で続いている。

秩父市民が考える最も多い秩父の弱みである「雇用機会」については、豊島区民はそれほど不安に思っていないが、「交通の利便性」や「医療・福祉」については、秩父市民が考える弱みと豊島区民の不安が一致しており、秩父市に豊島区民を向かい入れる上での課題であると考えられる。また、秩父市民は地域交流はあまり弱みとして意識していないが、豊島区民が思う不安としては、移住先での人間関係づくりは比較的上位にあることも注意が必要な点である。

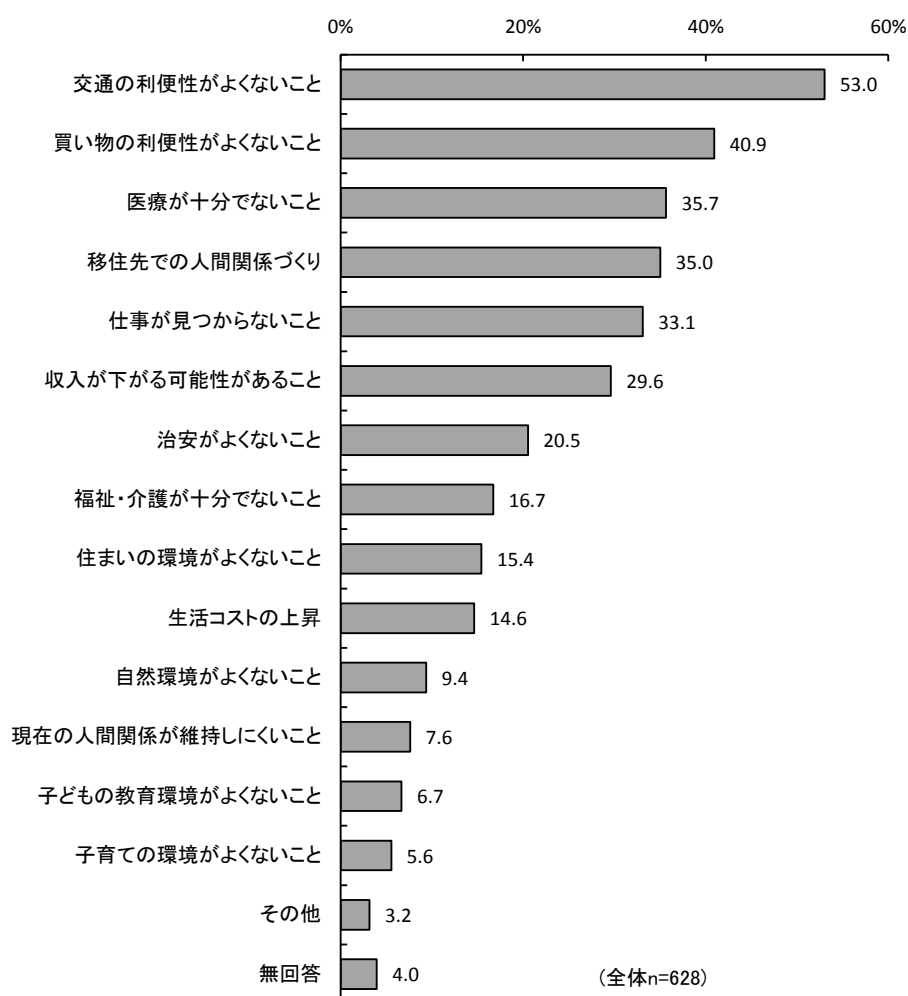


図 2-35 地方に移住する場合に不安に思うこと (豊島区民意識調査)

“移住してみたい”と回答した人に、姉妹都市であり移住に関する取組を連携して検討している埼玉県秩父市へ移住してみたいと思うかを聞いたところ、「秩父市に移住したくない」(52.5%)と「どちらかというとも秩父市に移住したくない」(25.0%)を合わせた“秩父市に移住したくない”は77.5%となっている。

“秩父市に移住したくない”と回答した人に、どのような理由で秩父市へ移住したくないと思うかを聞いたところ、「親しみのない場所だから」(45.6%)と「秩父市についてよく知らないから」(45.4%)がともに高く、次に「交通が不便だから」(29.0%)が続いている。

まずは秩父市に付いて知ってもらうことが課題であると考えられる。

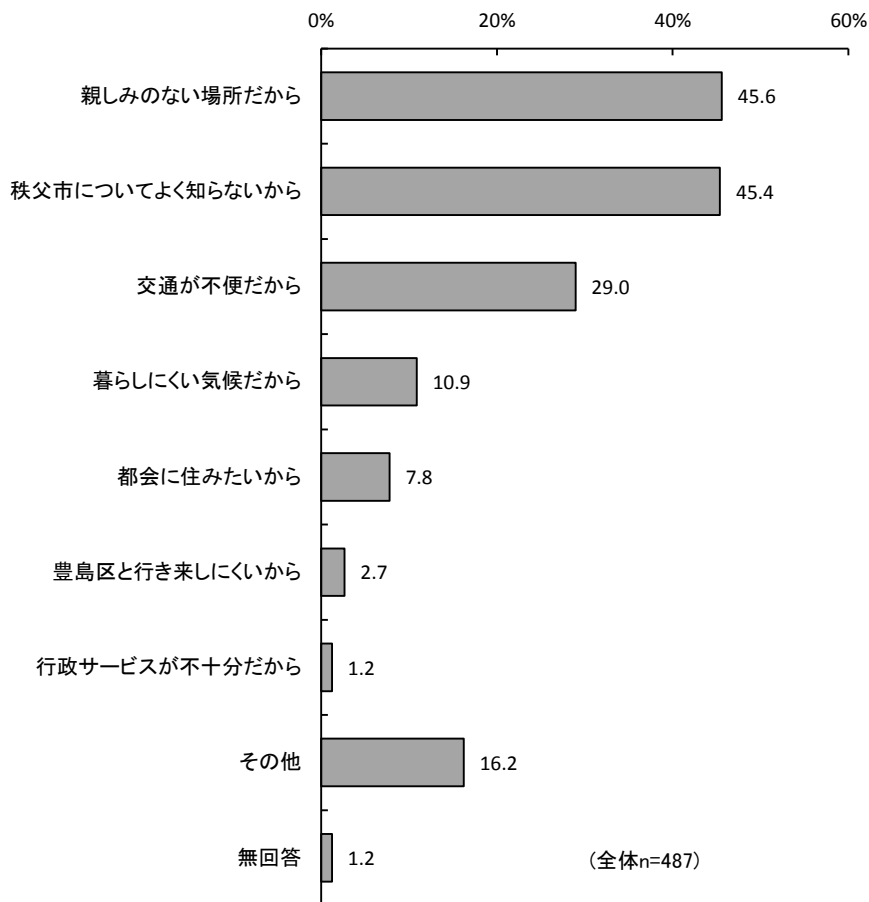


図 2-36 秩父市に移住したくない理由（豊島区民意識調査）

問 14 秩父市の市外からの移住者の受入についてどう思いますか。(1つに〇)

【選択肢】

1. 積極的に受入れるべきだと思う
2. どちらかというとう受入れるべきだと思う
3. どちらかというとう受入れるべきではないと思う
4. 全く受入れるべきではないと思う
5. わからない

【単純集計結果】

「積極的に受入れるべきだと思う」が42.4%と最も多く、次いで「どちらかというとう受入れるべきだと思う」が40.5%、「わからない」が11.5%と続いている。「積極的に受入れるべきだと思う」と「どちらかというとう受入れるべきだと思う」をあわせると8割に達する。

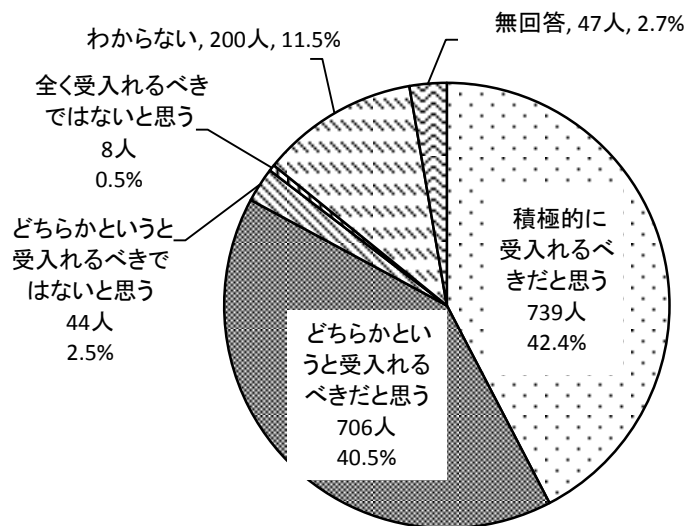


図 2-37 市外からの移住者の受入に関する意識

【クロス集計分析】

移住者の受入は、「積極的に受入れるべきだと思う」「どちらかというとう受入れるべきだと思う」を合わせると、年代別では40代を中心に中年層で「受入れるべきだと思う」が高く、性別別では男性が高い。地区別では「積極的に受入れるべきだと思う」は差があるが、「どちらかというとう受入れるべきだと思う」まで含めると特に大きな傾向は見られない。

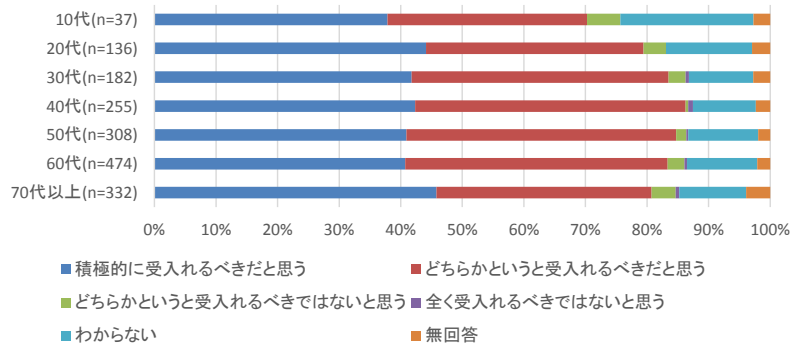


図 2-38 市外からの移住者の受入に関する意識（年代別集計）

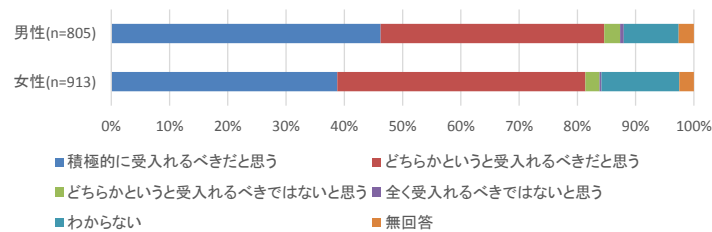


図 2-39 市外からの移住者の受入に関する意識（性別別集計）

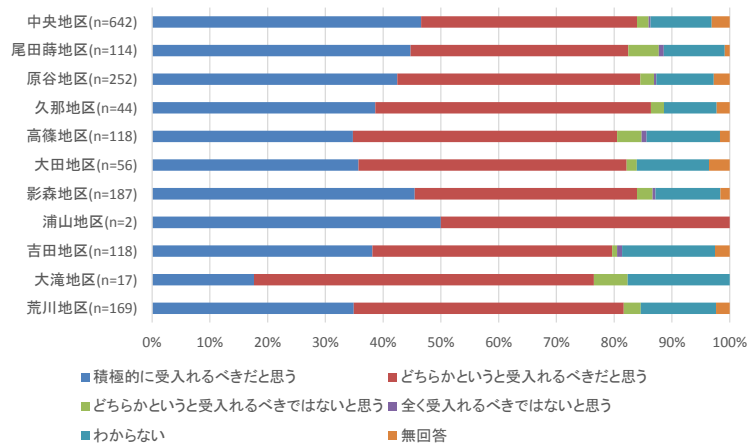


図 2-40 市外からの移住者の受入に関する意識（地区別集計）

問 15 市外からの移住者を受入れるべきだと思う理由は何ですか。(いくつでも○)

【選択肢】

1. まちの活性化につながるから
2. まちの労働力の確保につながるから
3. 地元での消費の増加につながるから
4. 都市部の医療・福祉施設不足の解消につながるから
5. その他

【単純集計結果】

「まちの活性化につながるから」が 86.8%と最も多く、次いで「地元での消費の増加につながるから」が 45.8%、「まちの労働力の確保につながるから」が 30.4%と続いている。

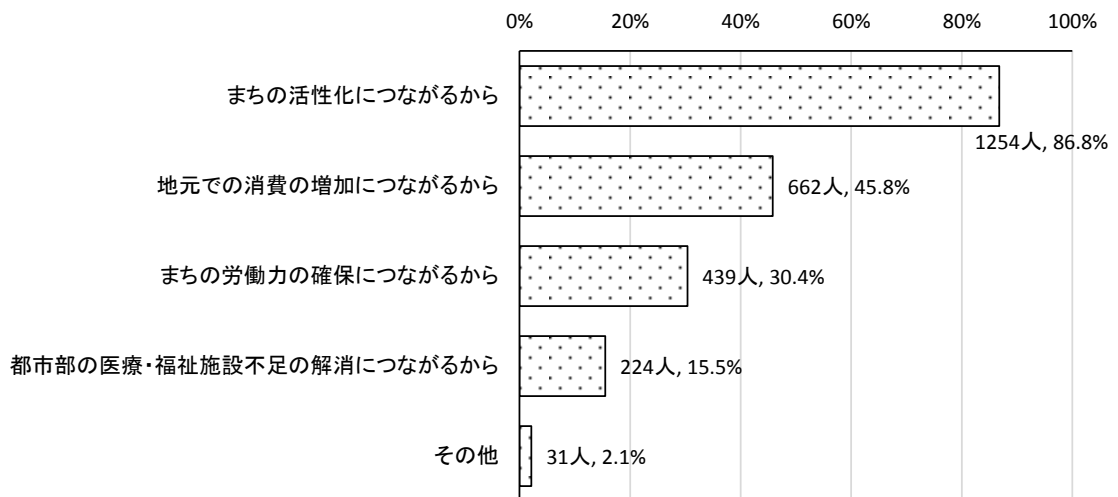


図 2-4 1 市外から移住者を受け入れるべきと思う理由

【クロス集計分析】

移住者を受入れるべきだと思う理由は、年代別では「まちの活性化につながるから」が10代で特に高い。性別別、地区別では特に大きな傾向は見られない。

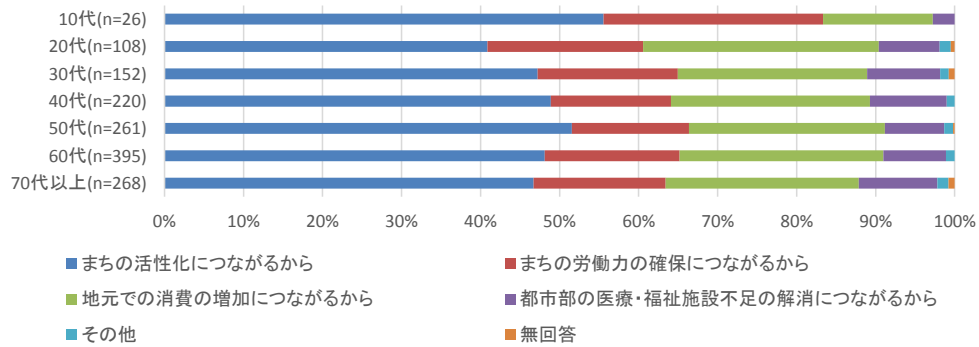


図 2-4 2 市外から移住者を受け入れるべきと思う理由（年代別集計）

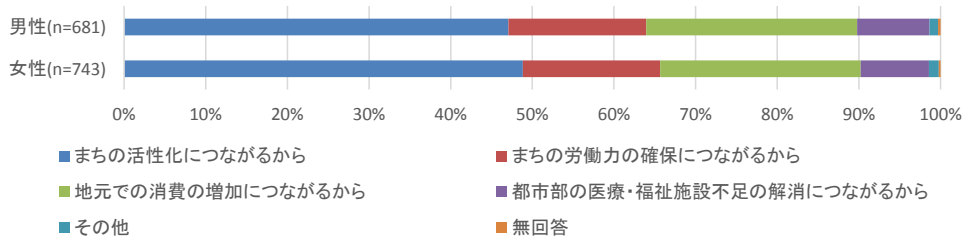


図 2-4 3 市外から移住者を受け入れるべきと思う理由（性別別集計）

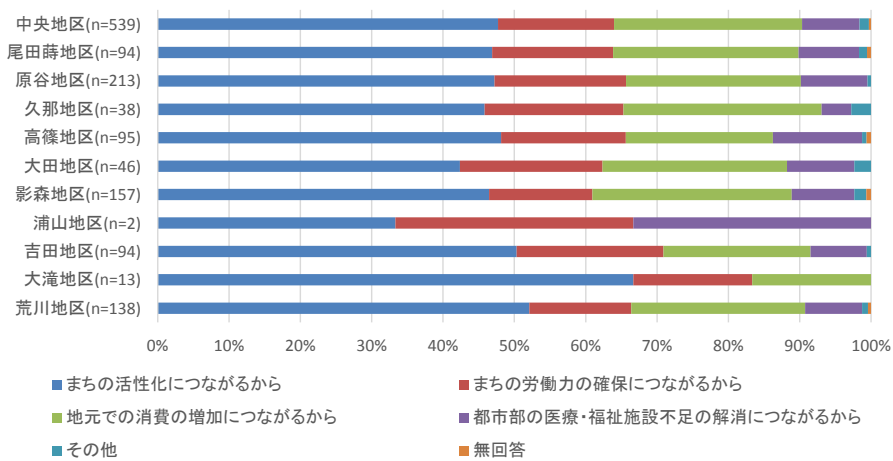


図 2-4 4 市外から移住者を受け入れるべきと思う理由（地区別集計）

問 16 どのような年齢層であれば、移住者として受け入れても良いとお考えですか。(いくつでも)

【選択肢】

1. 年代を問わない
2. 10代・20代
3. 30代・40代
4. 50代・60代
5. 60代以上

【単純集計結果】

「年代を問わない」が 60.6%と最も多く、次いで「30代・40代」が 39.2%、「10代・20代」が 20.3%と続いている。

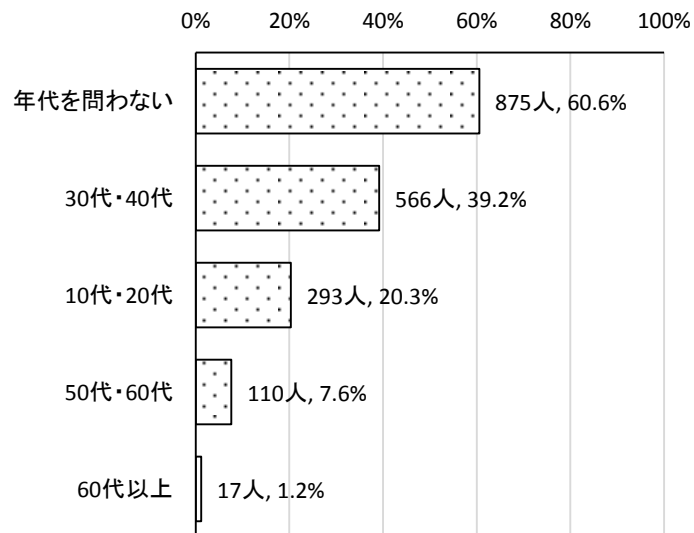


図 2-4 5 移住者として受け入れてもよい年齢層

【クロス集計分析】

受け入れても良い年齢層は、「年代を問わない」が20代で特に高く、若い年代ほど「10代・20代」が高い。性別別では特に大きな傾向は見られない。地区別ではいずれも「年代を問わない」が高いものの、割合としては差がある。

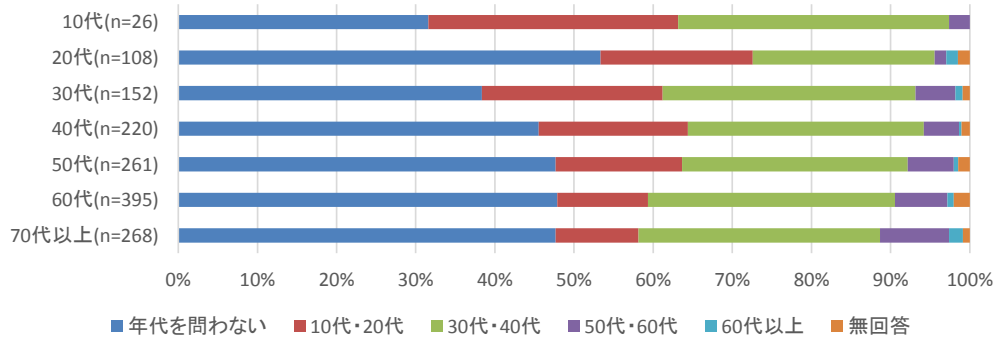


図 2-46 移住者として受け入れてもよい年齢層（年代別集計）

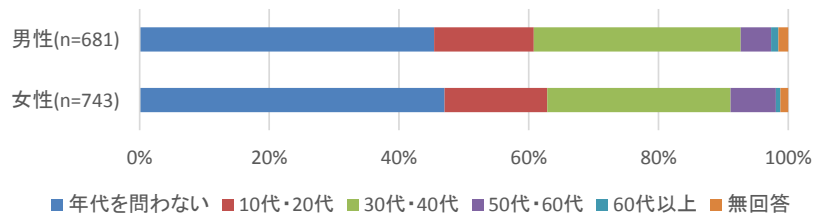


図 2-47 移住者として受け入れてもよい年齢層（性別別集計）

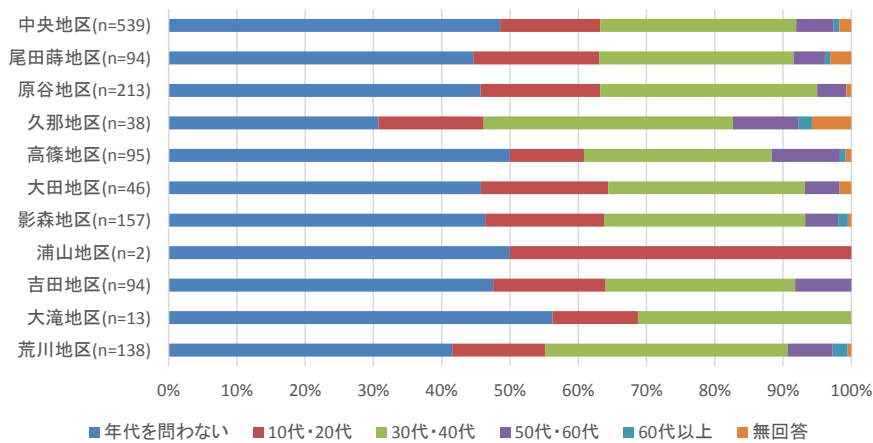


図 2-48 移住者として受け入れてもよい年齢層（地区別集計）

問 17 どのような方であれば、移住者として受け入れても良いとお考えですか。(いくつかでも)

【選択肢】

1. 自治会等の地域活動やボランティアなど、新たな地域の担い手となる人
2. 市内企業に新しい知識や技術を導入できる人
3. 手に職を持つ人
4. 芸術家やアーティスト
5. 農林業に携わる人
6. 地元産業の後継者となる人
7. 特にこだわらない
8. その他

【単純集計結果】

「特にこだわらない」が 44.8%と最も多く、次いで「市内企業に新しい知識や技術を導入できる人」が 43.4%、「地元産業の後継者となる人」が 36.5%と続いている。

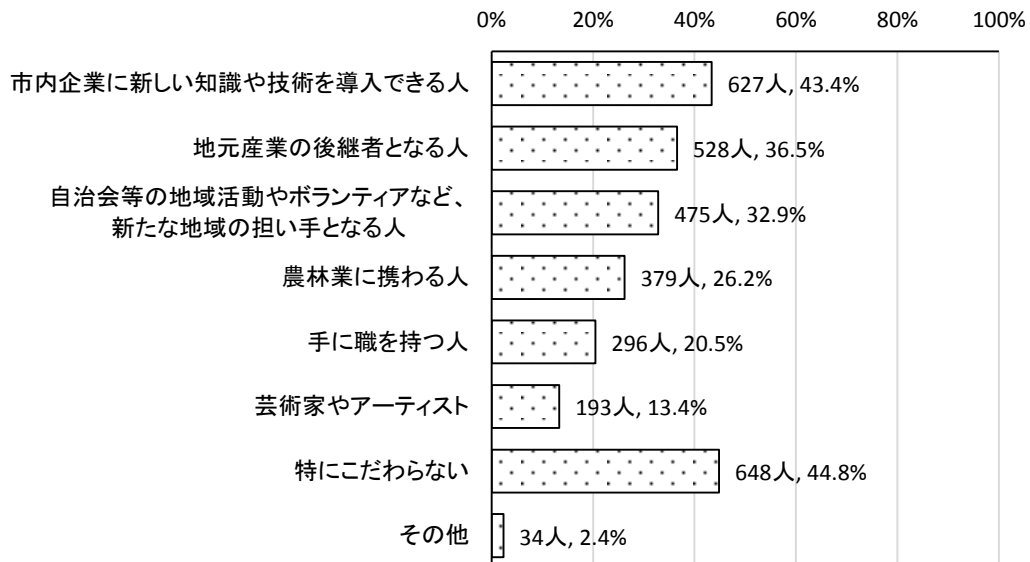


図 2-4 9 移住者として受け入れてもよい人物像

【クロス集計分析】

受け入れても良い移住者は、年代別では、10代は「自治会等の地域活動やボランティアなど、新たな地域の担い手となる人」、60・70代は「市内企業に新しい知識や技術を導入できる人」、それ以外は「特にこだわらない」が最も高い。性別別では男性の方が「自治会等の地域活動やボランティアなど、新たな地域の担い手となる人」が高く、地区別では特に大きな傾向は見られない。

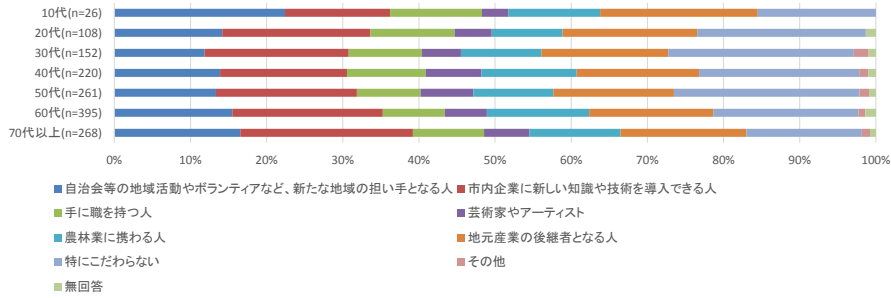


図 2-50 移住者として受け入れてもよい人物像（年代別集計）

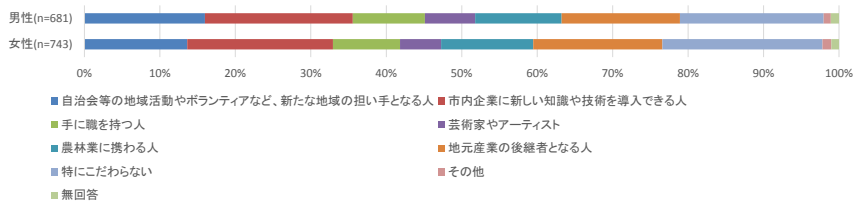


図 2-51 移住者として受け入れてもよい人物像（性別別集計）

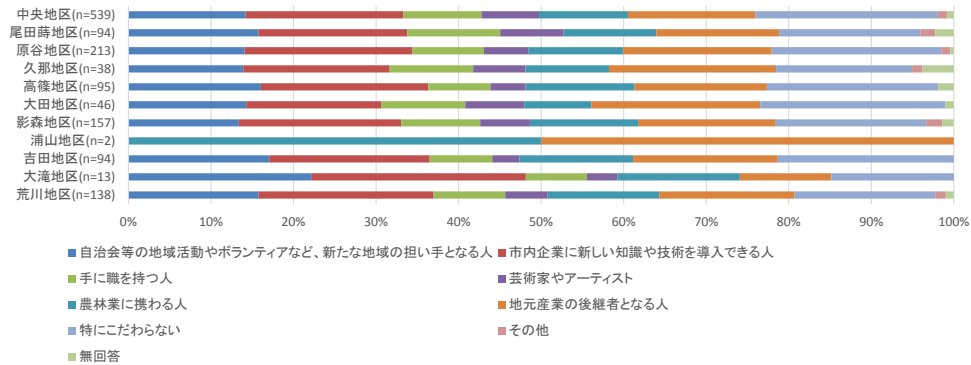


図 2-52 移住者として受け入れてもよい人物像（地区別集計）

問 18 あなたは、市外からの移住者との交流をどう思いますか。(1つに○)

【選択肢】

1. 積極的に交流したい
2. まあまあ交流したい
3. あまり交流したくない
4. 全く交流したくない

【単純集計結果】

「まあまあ交流したい」が 62.8%と最も多く、次いで「積極的に交流したい」が 22.6%、「あまり交流したくない」が 10.0%と続いている。「積極的に交流したい」と「まあまあ交流したい」をあわせると、8割に達している。

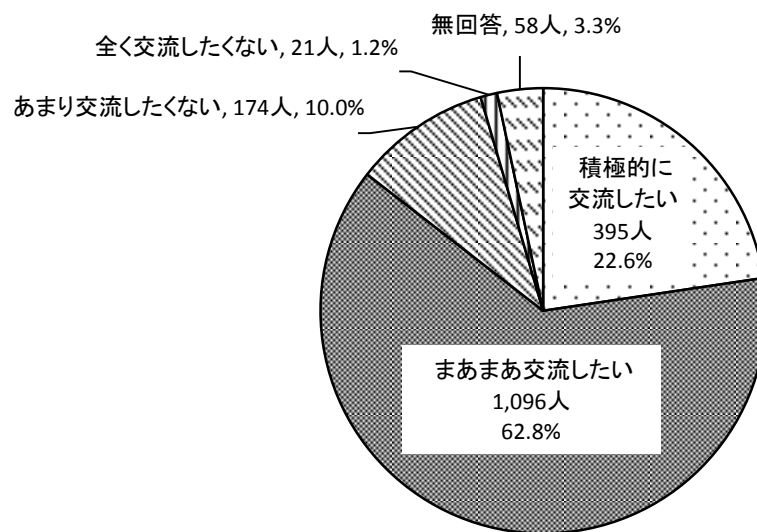


図 2-5 3 市外からの移住者との交流に関する意識

【クロス集計分析】

移住者との交流は、年代別では、「積極的に交流したい」は年代が高くなるほど高くなり、「まあまあ交流したい」まで含めると40代を中心に中年層が高い。性別別では「積極的に交流したい」は男性の方が高く、「まあまあ交流したい」まで含めると大きな差はない。地区別では、「積極的に交流したい」は大きな差はないが、「まあまあ交流したい」まで含めると地域差が見られる。

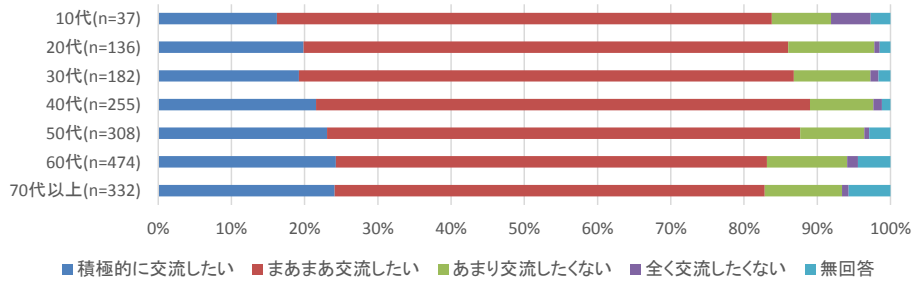


図 2-54 市外からの移住者との交流に関する意識（年代別集計）

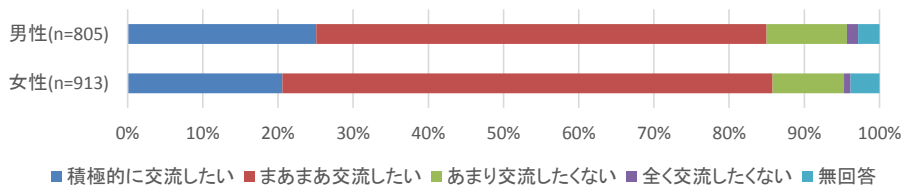


図 2-55 市外からの移住者との交流に関する意識（性別別集計）

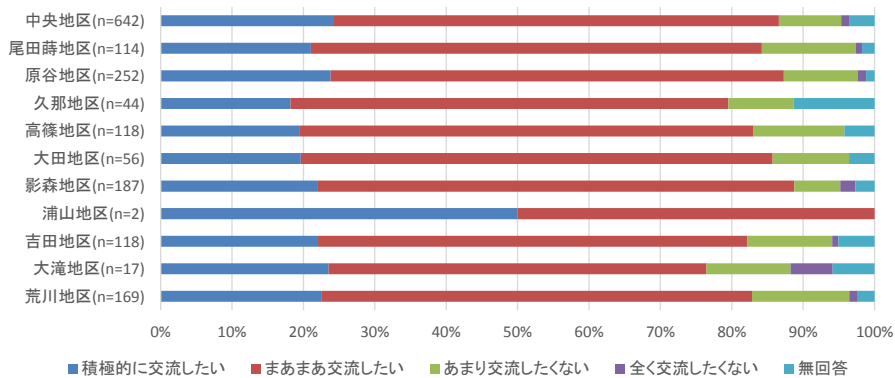


図 2-56 市外からの移住者との交流に関する意識（地区別集計）

問 19 あなたは、移住者への支援活動に協力したいと思いますか。(1つに○)

【選択肢】

1. 積極的に協力したい
2. まあまあ協力したい
3. あまり協力したくない
4. 全く協力したくない

【単純集計結果】

「まあまあ協力したい」が 65.0%と最も多く、次いで「積極的に協力したい」が 15.5%、「あまり協力したくない」が 13.7%と続いている。「積極的に協力したい」と「まあまあ協力したい」をあわせると、8割に達している。

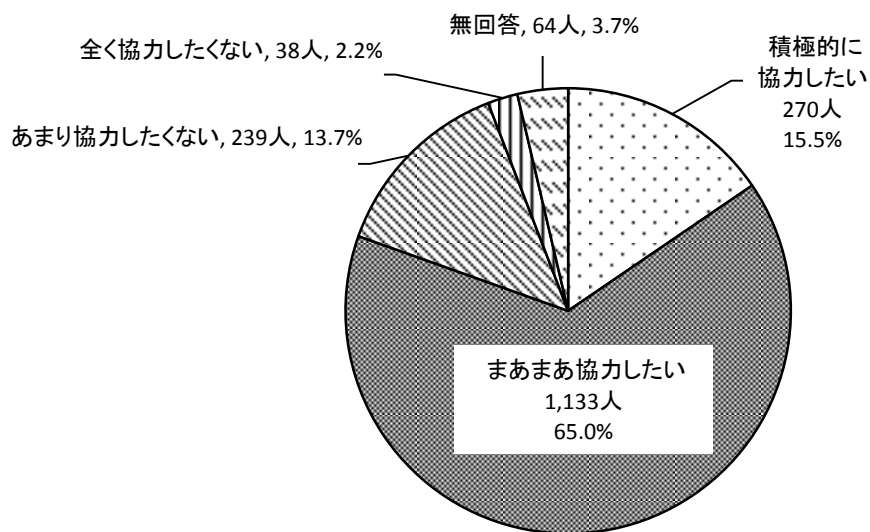


図 2-5 7 市外からの移住者への支援活動に関する意識

【クロス集計分析】

移住者への支援活動への協力は、年代が高いほど「協力したい」が高くなる傾向が見られる。性別別では「積極的に協力したい」は男性の方が高く、「まあまあ協力したい」まで含めると女性の方が高い。地区別では特に大きな傾向は見られない。

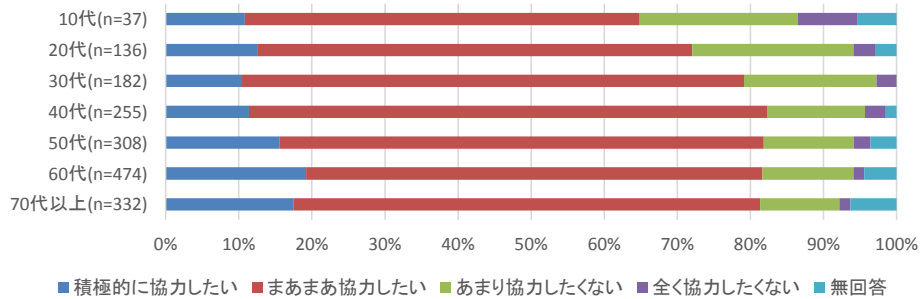


図 2-58 市外からの移住者への支援活動に関する意識（年代別集計）

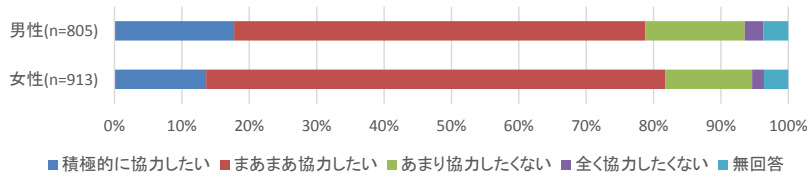


図 2-59 市外からの移住者への支援活動に関する意識（性別別集計）

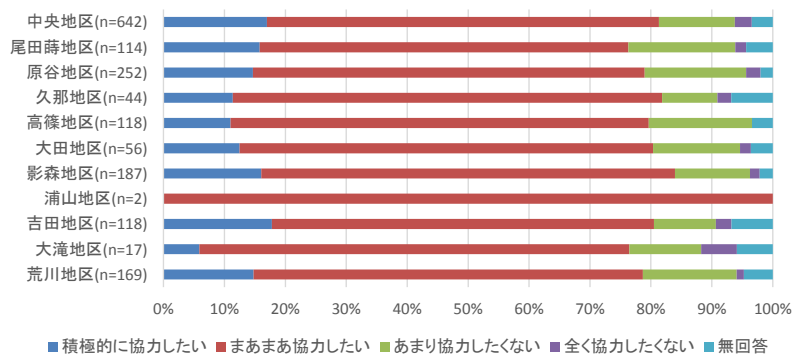


図 2-60 市外からの移住者への支援活動に関する意識（地区別集計）

問 20 あなたは、移住者の受入に当たりどのようなことを不安に感じますか。(いくつでも〇)

【選択肢】

1. 介護・医療施設の逼迫につながる
2. 就職先の競合につながる
3. 既存のコミュニティへの悪影響
4. 地域の伝統・文化への悪影響
5. 市外の人を移住者として受け入れることに、漠然とした不安がある
6. 特に不安はない
7. その他

【単純集計結果】

「特に不安はない」が 50.6%と最も多く、次いで「介護・医療施設の逼迫につながる」が 17.3%、「市外の人を移住者として受け入れることに、漠然とした不安がある」が 13.8%と続いている。

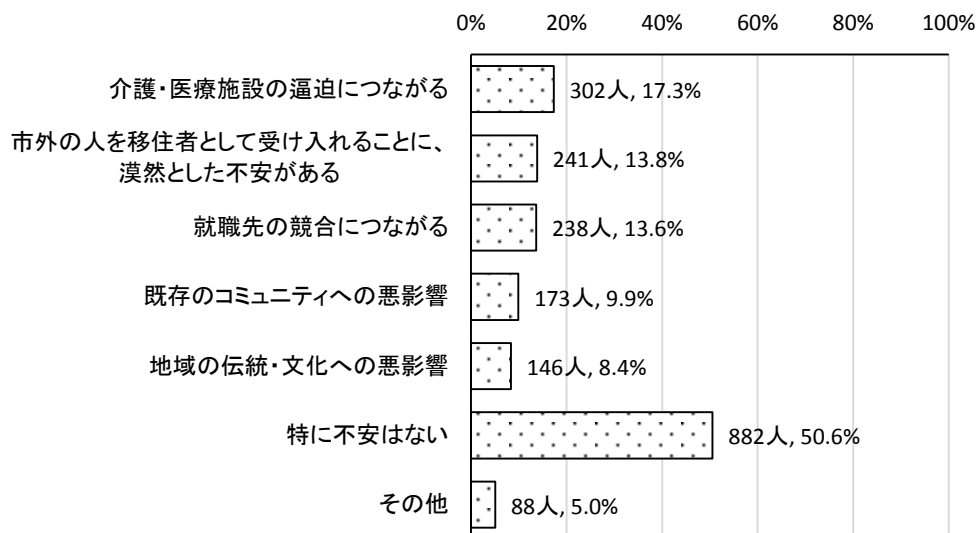


図 2-6 1 市外からの移住者を受け入れるにあたっての不安

【クロス集計分析】

移住者受入の不安は、「就職先の競合につながる」は若い年代で高い。性別別では「既存のコミュニティへの悪影響」「地域の伝統・文化への悪影響」は男性の方が高い。地区別では「介護・医療施設の逼迫につながる」などで差が見られる。

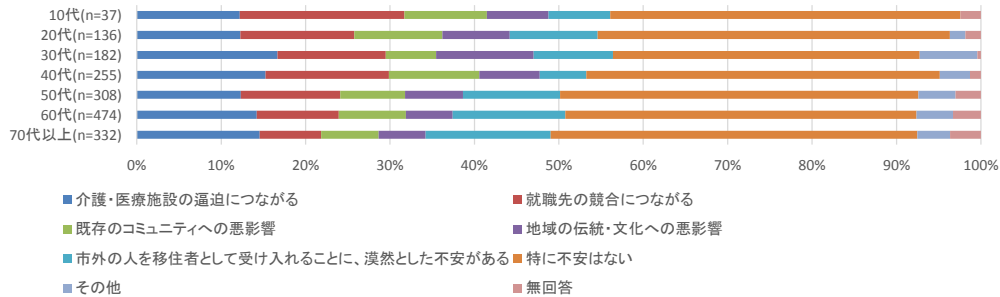


図 2-6 2 市外からの移住者を受け入れるにあたっての不安（年代別集計）

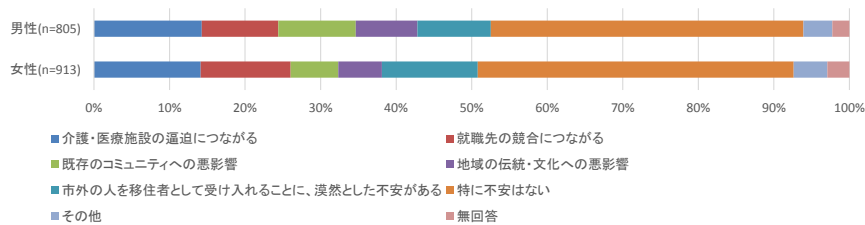


図 2-6 3 市外からの移住者を受け入れるにあたっての不安（性別別集計）

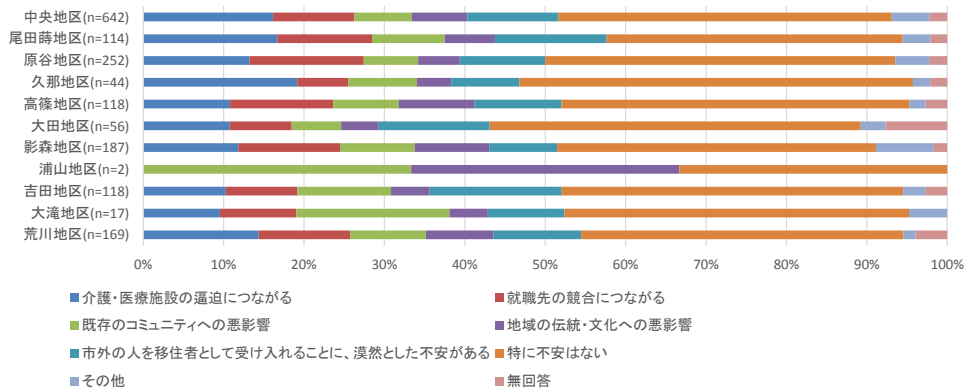


図 2-6 4 市外からの移住者を受け入れるにあたっての不安（地区別集計）

2.4 定住等について

問21 あなたは、今後も秩父市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

【選択肢】

1. いつまでも住み続けたい
2. 当分住み続けたい
3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある
4. 他の地域・区市町村に転居したい

【単純集計結果】

「いつまでも住み続けたい」が57.8%と最も多く、次いで「当分住み続けたい」が30.0%、「他の地域・区市町村に転居したい」が6.5%と続いている。「いつまでも住み続けたい」と「当分住み続けたい」をあわせると、9割近くに達している。

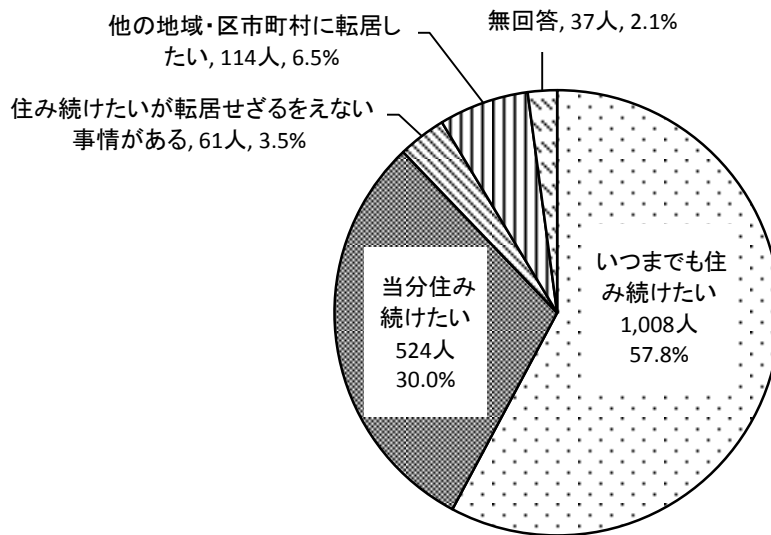


図 2-65 秩父市の定住意向

【クロス集計分析】

年代が高くなるほど定住意向が高くなる。性別別では男性の方が高い。地区別では特に大きな傾向は見られない。

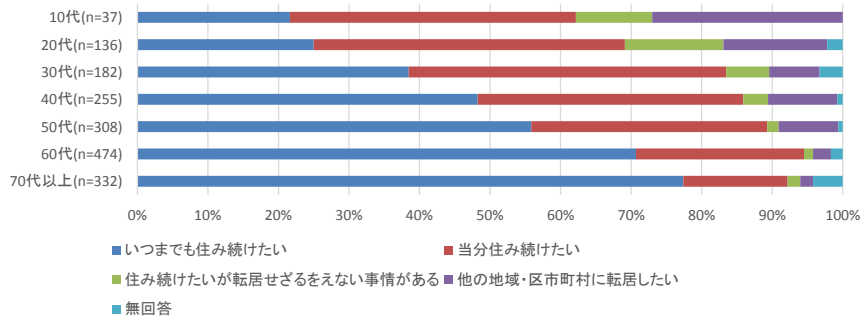


図 2-6 6 秩父市の定住意向（年代別集計）

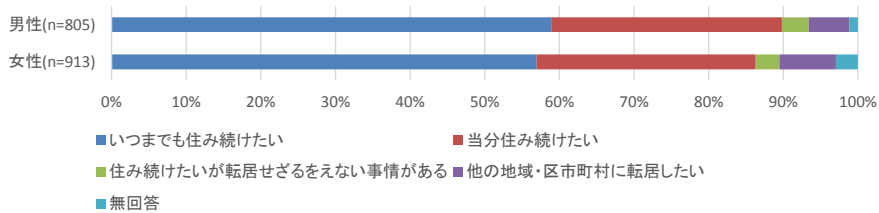


図 2-6 7 秩父市の定住意向（性別別集計）

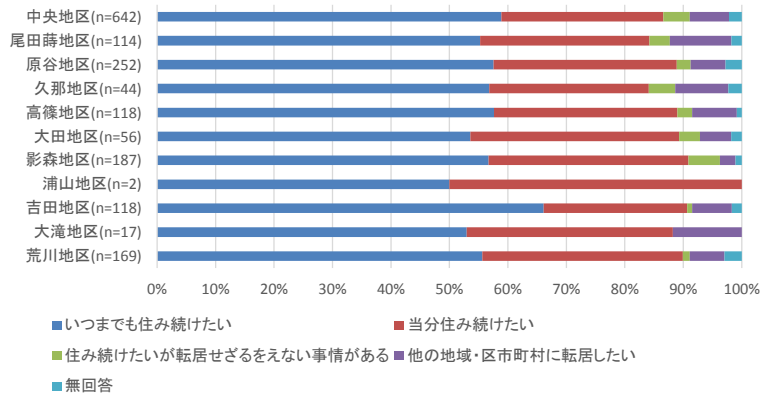


図 2-6 8 秩父市の定住意向（地区別集計）

問 22 あなたは、介護が必要になった場合にどのような居住形態を希望しますか。(いくつでも)

【選択肢】

1. 家族と同居
2. 施設に入居
3. わからない
4. その他

【単純集計結果】

「施設に入居」が 50.1%と最も多く、次いで「わからない」が 28.7%、「家族と同居」が 25.7%と続いている。

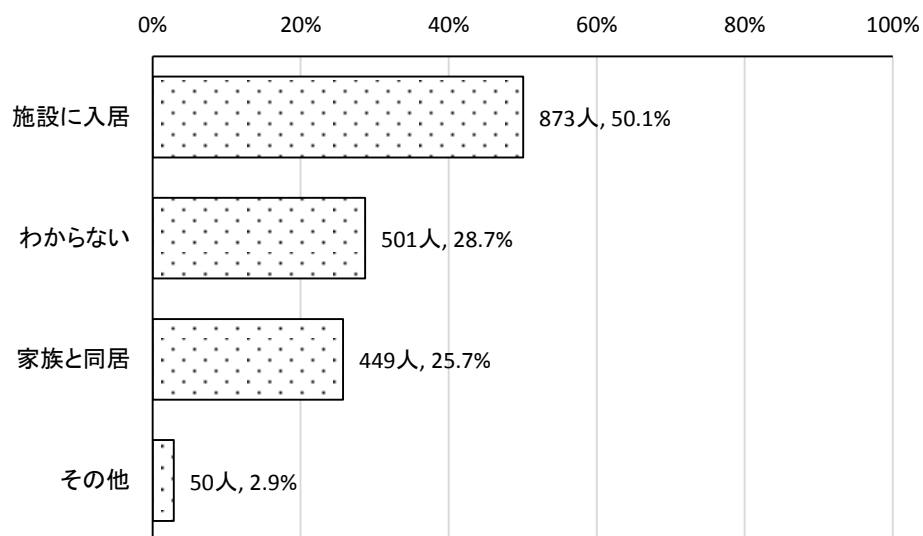


図 2-6 9 介護が必要になった場合の希望する居住形態

【クロス集計分析】

介護が必要になった場合に希望する居住形態は、年代別では「家族と同居」は若い年代と高齢層で高く、「施設に入居」は中年層で高い。性別別では、男性は「家族と同居」、女性は「施設に入居」が高い。地区別では特に大きな傾向は見られない。

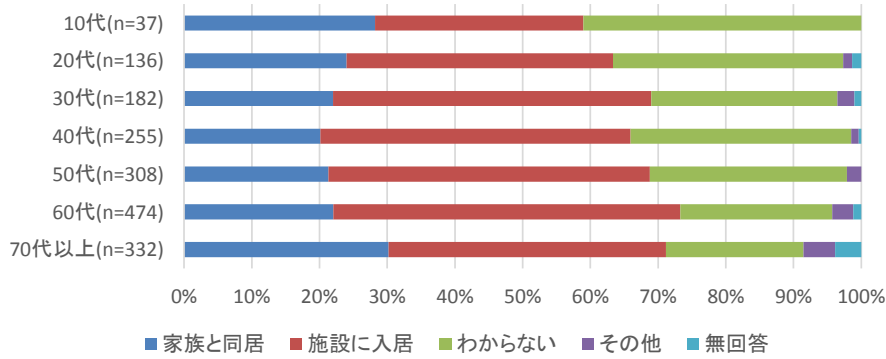


図 2-70 介護が必要になった場合の希望する居住形態（年代別集計）

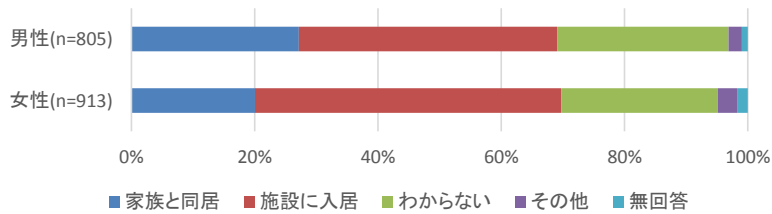


図 2-71 介護が必要になった場合の希望する居住形態（性別別集計）

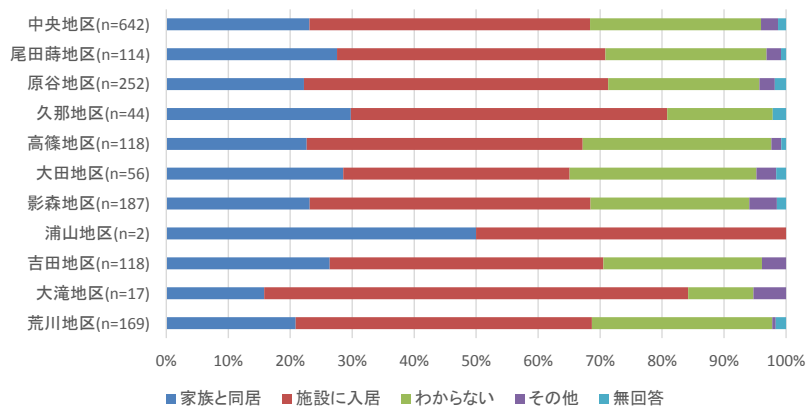


図 2-72 介護が必要になった場合の希望する居住形態（地区別集計）

問 23 あなたは、元気なとき（介護が必要となる前）から入居して、将来介護が必要となったときにも、ずっと住み続けられるケア付きの集合住宅をどう思いますか。

【選択肢】

1. 入居したい
2. 入居も考えられる
3. あまり入居したくない
4. 入居したくない

【単純集計結果】

「入居も考えられる」が 47.1%と最も多く、次いで「あまり入居したくない」が 21.1%、「入居したい」が 16.7%と続いている。

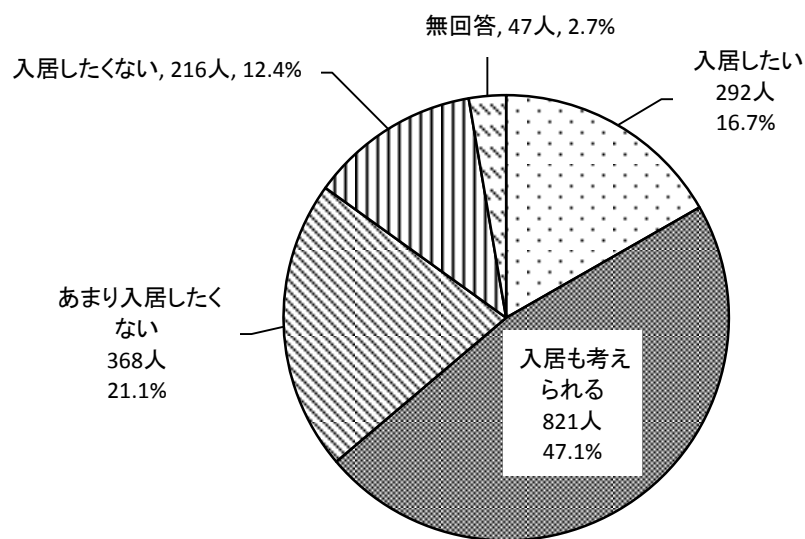


図 2-73 ケア付き集合住宅に関する意識

【クロス集計分析】

ケア付きの集合住宅については、年代別では「入居したい」も「入居も考えられる」も30代を中心に若年～中年層で高い。性別別では「入居したい」も「入居も考えられる」も女性の方が高い。地区別では特に大きな傾向は見られない。

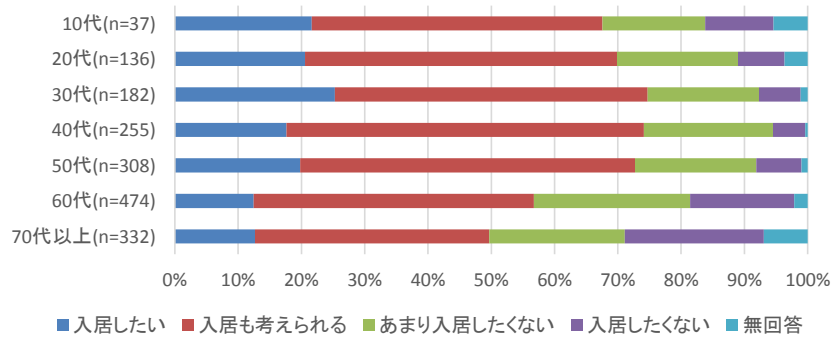


図 2-74 ケア付き集合住宅に関する意識（年代別集計）

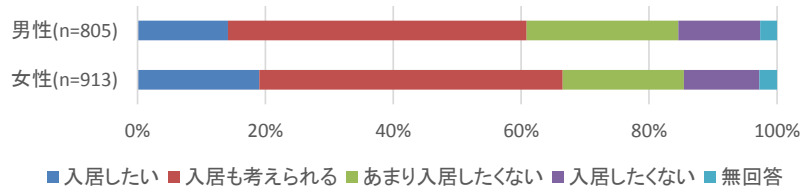


図 2-75 ケア付き集合住宅に関する意識（性別別集計）

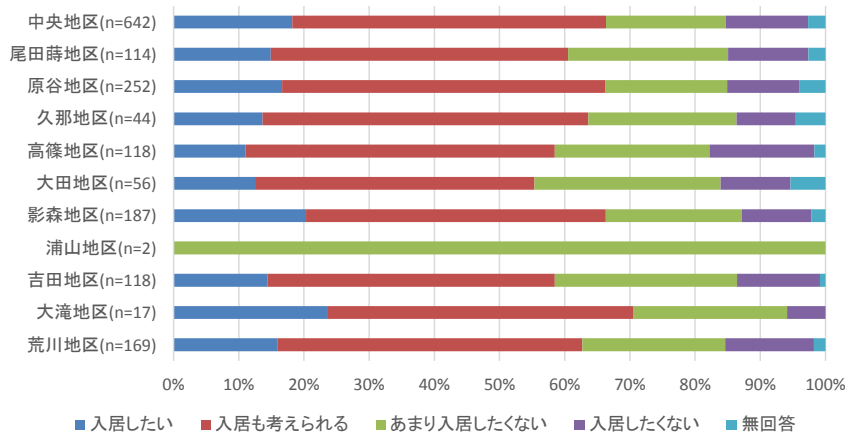


図 2-76 ケア付き集合住宅に関する意識（地区別集計）

2.5 CCRCについて

問 24 秩父市に、都市部住民が移住してきた場合、あなたは、どのようなことを移住者に期待しますか。(いくつでも○)

【選択肢】

1. 自治会・町会等の地域活動など、地域コミュニティの活性化
2. 子ども・障害者・高齢者福祉に関するボランティア活動
3. 仕事・趣味としての農林業の担い手
4. 仕事等の経験・知識を活かした生涯学習等での活動
5. 仕事等の経験・知識を活かした市内企業への技術移転
6. 特にない
7. その他

【単純集計結果】

「自治会・町会等の地域活動など、地域コミュニティの活性化」が39.9%と最も多く、次いで「仕事等の経験・知識を活かした市内企業への技術移転」が39.4%、「仕事等の経験・知識を活かした生涯学習等での活動」が31.7%と続いている。

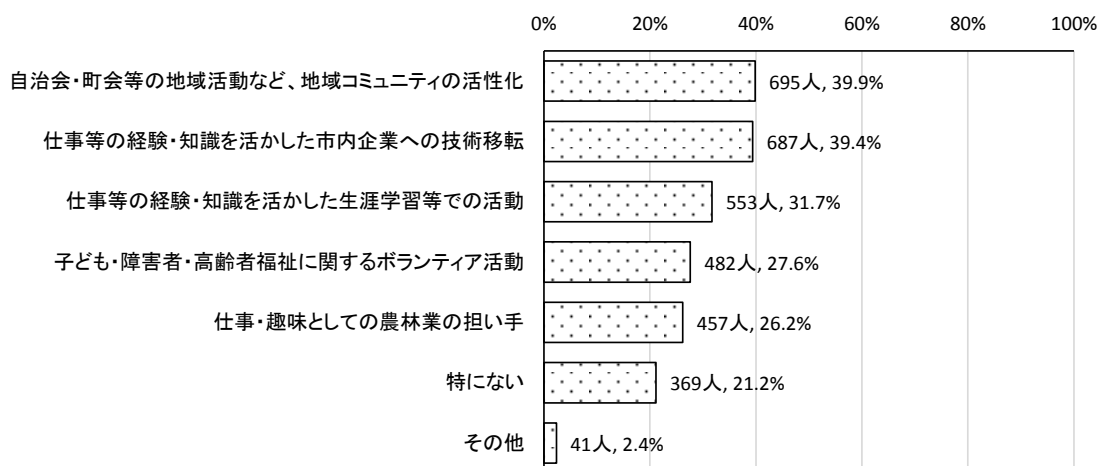


図 2-7 7 都市部からの移住者への期待

【クロス集計分析】

移住者に期待することは、年代別では、10代・60代・70代以上では「自治会・町会等の地域活動など、地域コミュニティの活性化」、それ以外では「仕事等の経験・知識を活かした市内企業への技術移転」が最も高い。性別別では、「自治会・町会等の地域活動など、地域コミュニティの活性化」は男性の方が高い。地区別では特に大きな傾向は見られない。

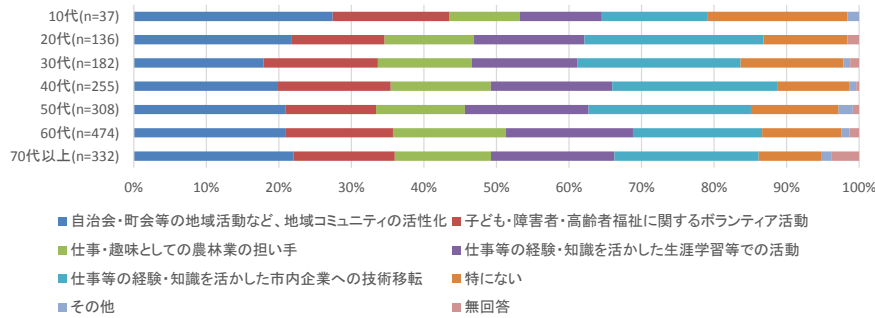


図 2-78 都市部からの移住者への期待（年代別集計）

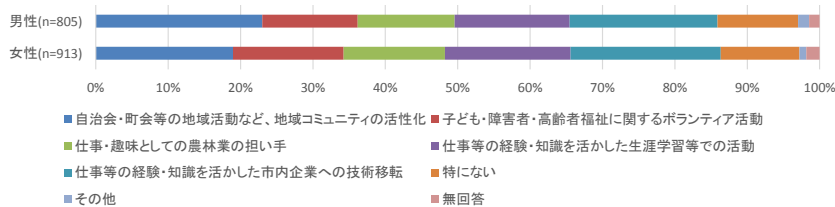


図 2-79 都市部からの移住者への期待（性別別集計）

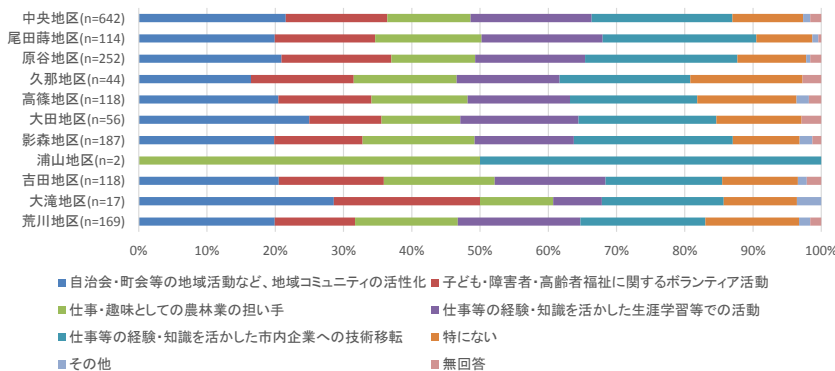


図 2-80 都市部からの移住者への期待（地区別集計）

問 25 あなたは、都市部住民とのどのような交流活動が秩父市のより良いまちづくりや活性化に役立つと思いますか。(いくつでも○)

【選択肢】

1. 仕事関連
2. ボランティア活動
3. 趣味
4. 地域の人たちとの交流
5. 特にない
6. その他

【単純集計結果】

「地域の人たちとの交流」が 59.6%と最も多く、次いで「仕事関連」が 43.7%、「ボランティア活動」が 28.6%と続いている。

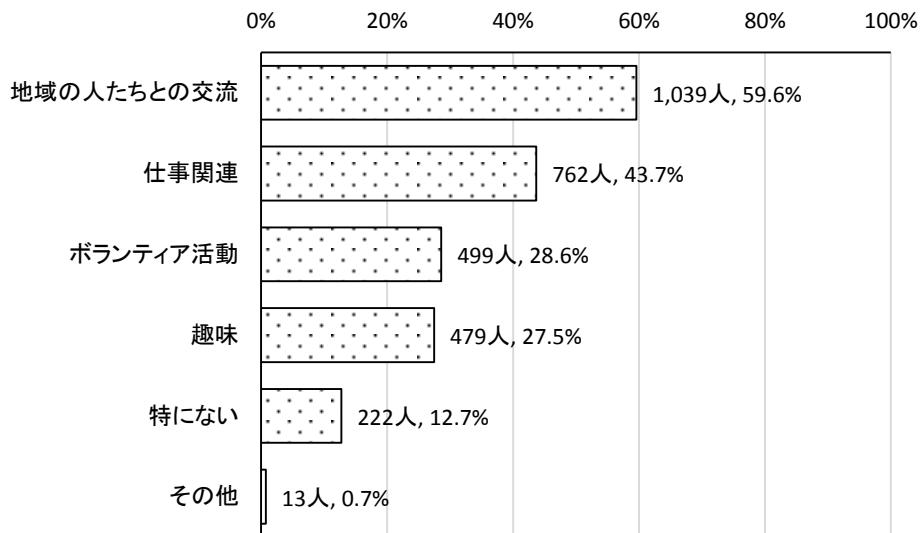


図 2-8 1 都市部住民との交流活動分野

【クロス集計分析】

秩父市のより良いまちづくりや活性化に役立つ交流活動は、「仕事関連」は若い年代ほど高い。性別別、地区別では特に大きな傾向は見られない。

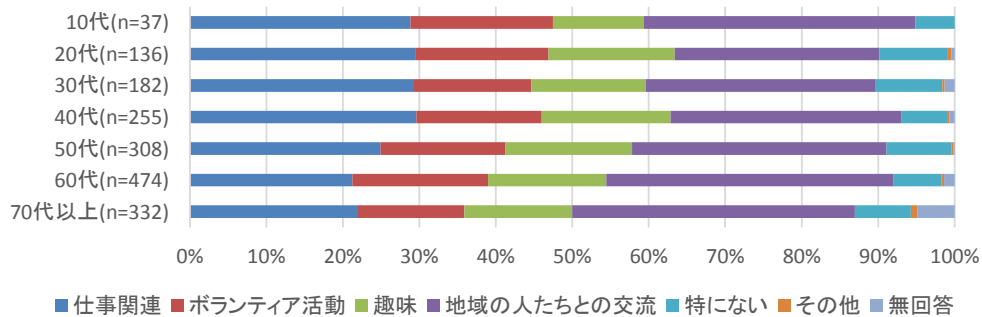


図 2-8 2 都市部住民との交流活動分野（年代別集計）

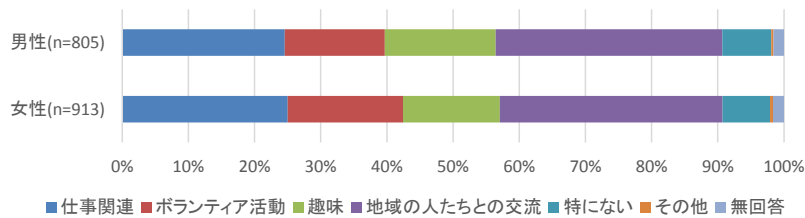


図 2-8 3 都市部住民との交流活動分野（性別別集計）

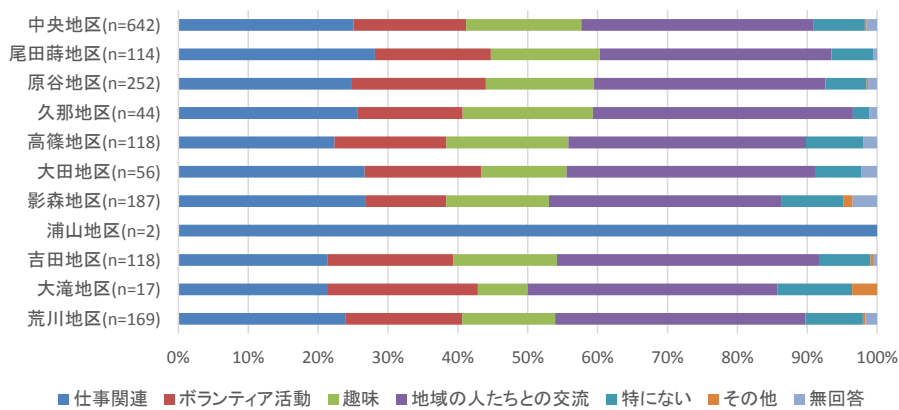


図 2-8 4 都市部住民との交流活動分野（地区別集計）

【豊島区民意識調査との比較】

地方に移住してみたいと思うかを聞いたところ、「移住してみたい」(13.8%)と「どちらかというに移住してみたい」(18.9%)を合わせた“移住してみたい”は32.7%となった。

“移住してみたい”と回答した人に、移住先では、どのようなことをしたいかを聞いたところ、「趣味を楽しむ」(59.4%)と「悠々自適の生活」(54.3%)が特に高く、次いで「スポーツ活動」(23.2%)、「地域の人たちとの交流」(23.1%)、「地域貢献活動」(15.3%)、「農業・林業を始める」(13.4%)の順が続いている。

秩父市民は移住者が増えると地域交流や仕事の活性化に役立つと考えているが、豊島区民は移住先では趣味を楽しんだり悠々自適の生活をしたりすることを望んでいるため、両者間で意思の齟齬が見られる。

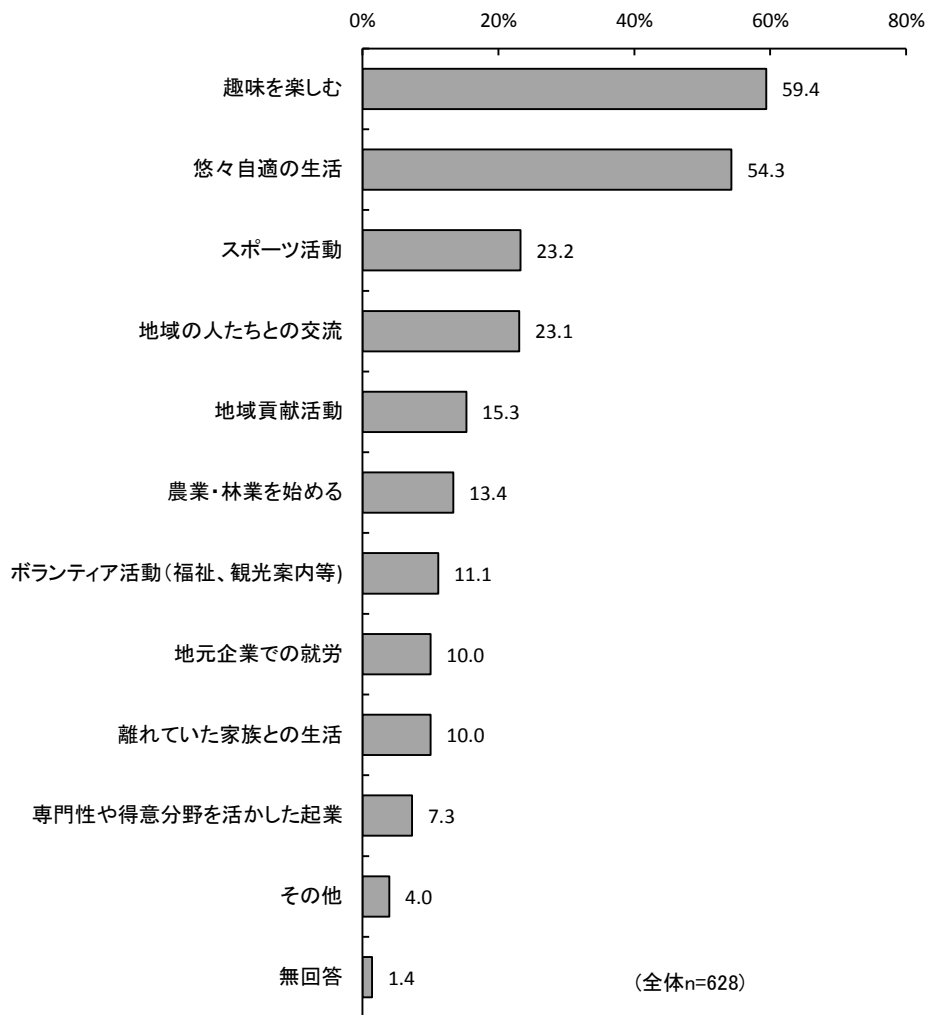


図 2-85 移住先でしたいこと

問 26 あなたは、都市部住民とのどのような交流活動に参加したいと思いますか。(いくつでも)

【選択肢】

1. 仕事関連
2. ボランティア活動
3. 趣味
4. 地域の人たちとの交流
5. 特にない
6. その他

【単純集計結果】

「地域の人たちとの交流」が 43.1%と最も多く、次いで「趣味」が 31.1%、「特にない」が 26.3%と続いている。

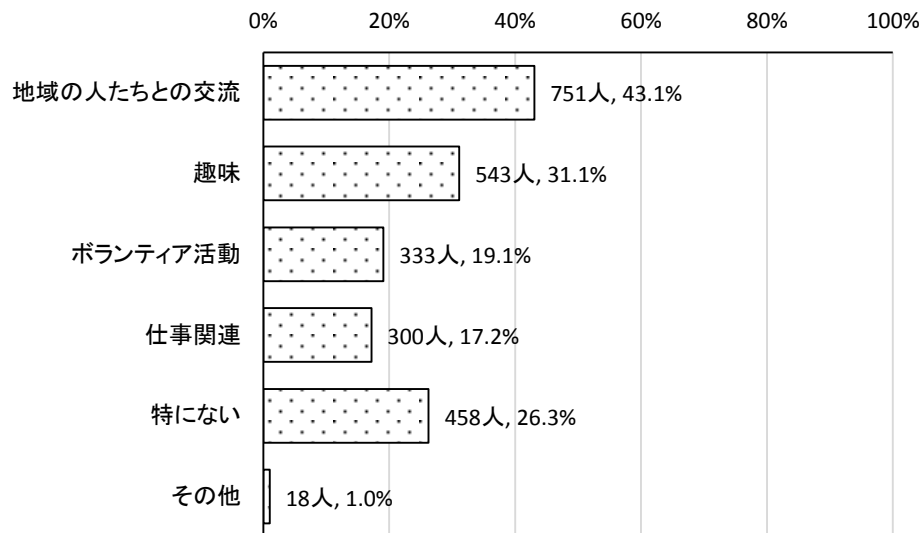


図 2-8 6 都市部住民との交流活動への参加意向

【クロス集計分析】

参加したいと思う交流活動は、年代別では「仕事関連」は20～50代で高く、「地域の人たちとの交流」は高い年代ほど高くなる傾向が見られる。性別別では「仕事関連」は男性の方が高い。地区別では特に大きな傾向は見られない。

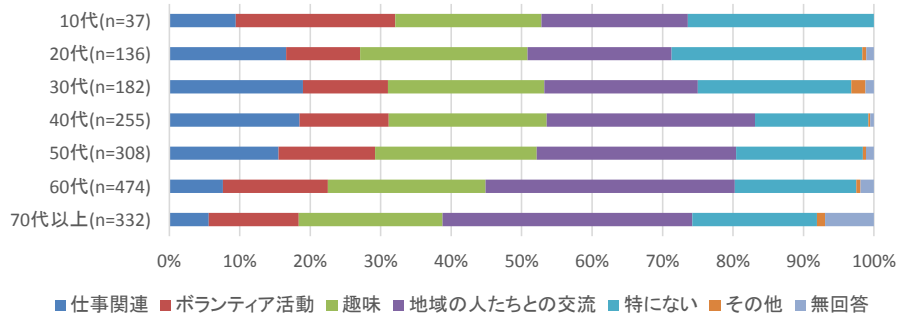


図 2-87 都市部住民との交流活動への参加意向（年代別集計）

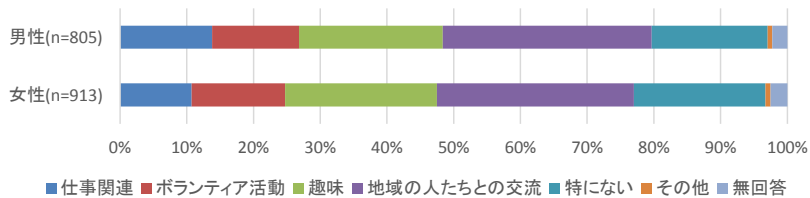


図 2-88 都市部住民との交流活動への参加意向（性別別集計）

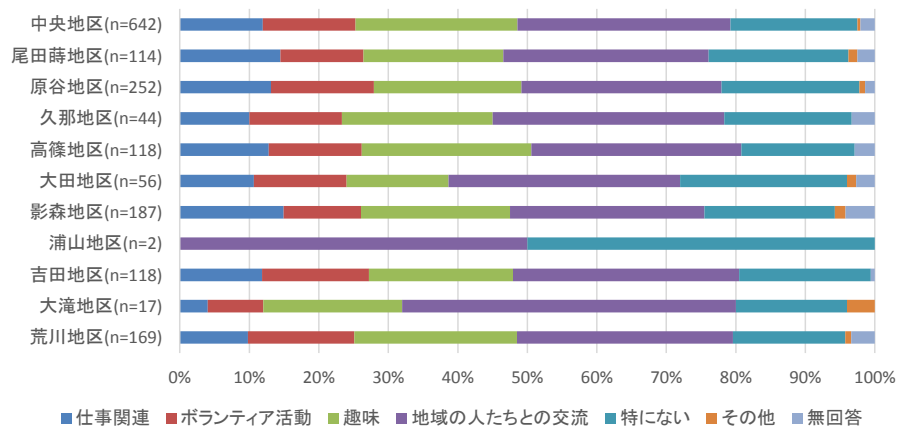


図 2-89 都市部住民との交流活動への参加意向（地区別集計）

問27 あなたは、秩父市が豊島区と姉妹都市提携していることを知っていましたか。(1つに○)

【選択肢】

1. 知っていた
2. 知らなかった

【単純集計結果】

「知っていた」が58.8%と多く、「知らなかった」を上回っている。

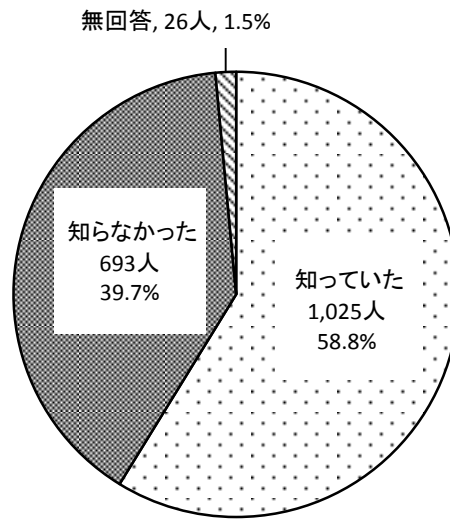


図 2-90 豊島区との姉妹都市提携に関する認知度

【クロス集計分析】

豊島区と姉妹都市提携は、年代別では年代が高くなるほど「知っていた」が高くなる。性別別では、「知っていた」は男性の方が高い。地区別では、「知っていた」は久那地区では約70%と高いが、大滝地区では約40%と差がある。

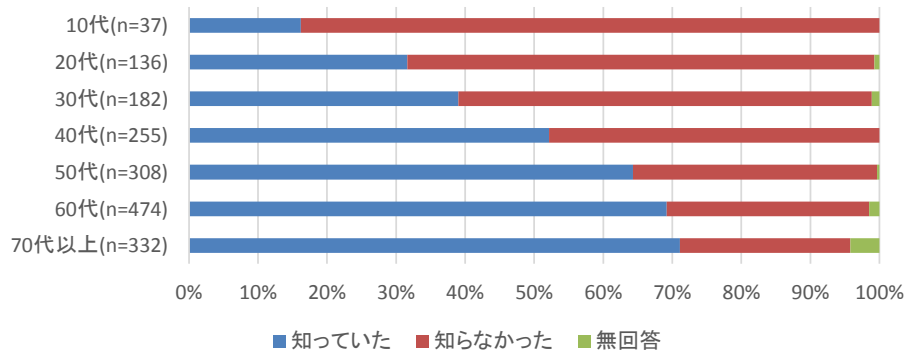


図 2-9 1 豊島区との姉妹都市提携に関する認知度

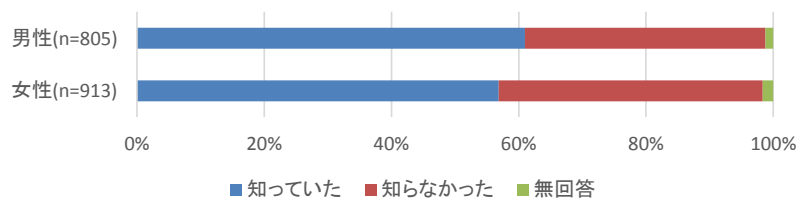


図 2-9 2 豊島区との姉妹都市提携に関する認知度

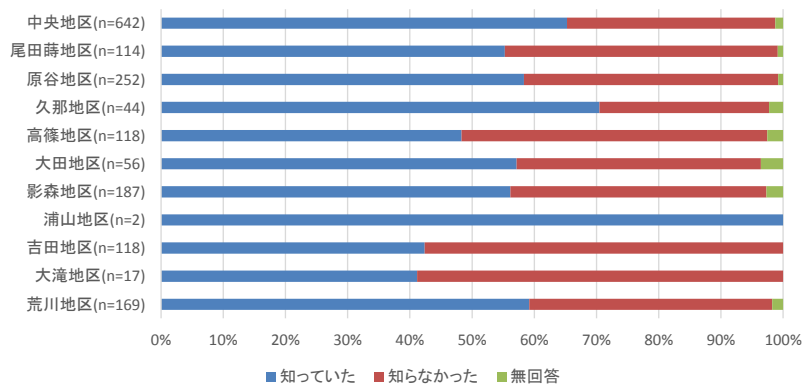


図 2-9 3 豊島区との姉妹都市提携に関する認知度

問 28 あなたは、豊島区との交流活動に参加したことがありますか。(1つに○)

【選択肢】

1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが、参加したいと思う
3. 参加したことはないし、参加したいとも思わない

【単純集計結果】

「参加したことはないし、参加したいとも思わない」が43.7%と最も多く、次いで「参加したことはないが、参加したいと思う」が42.7%、「参加したことがある」が10.6%と続いている。

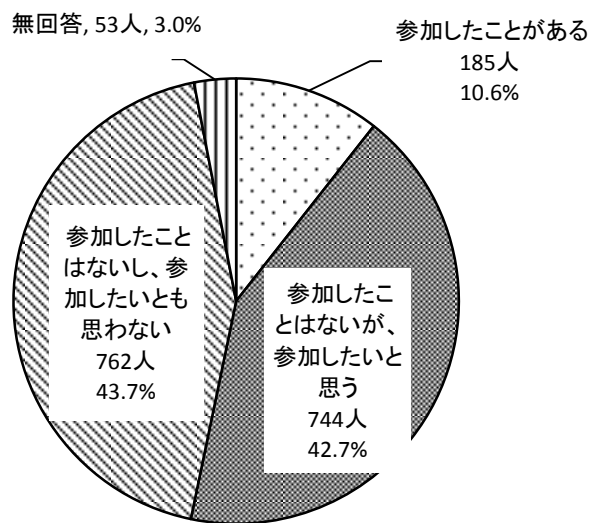


図 2-9 4 豊島区との交流活動の参加意向

【クロス集計分析】

交流活動の参加状況は、年代別では「参加したことがある」「参加したことはないが、参加したいと思う」は50代・60代で高い。性別別では、「参加したことはないが、参加したいと思う」は女性の方が高い。地区別では、「参加したことがある」に差があり、最も高いのは久那地区である。

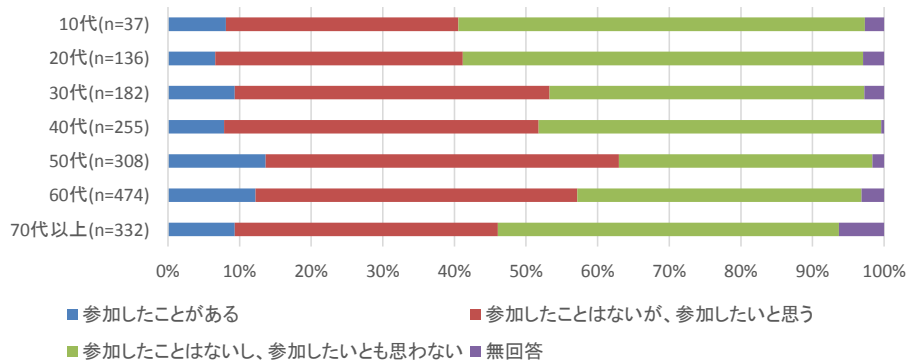


図 2-95 豊島区との交流活動の参加意向

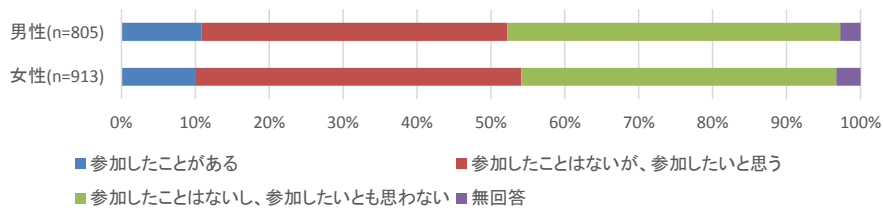


図 2-96 豊島区との交流活動の参加意向

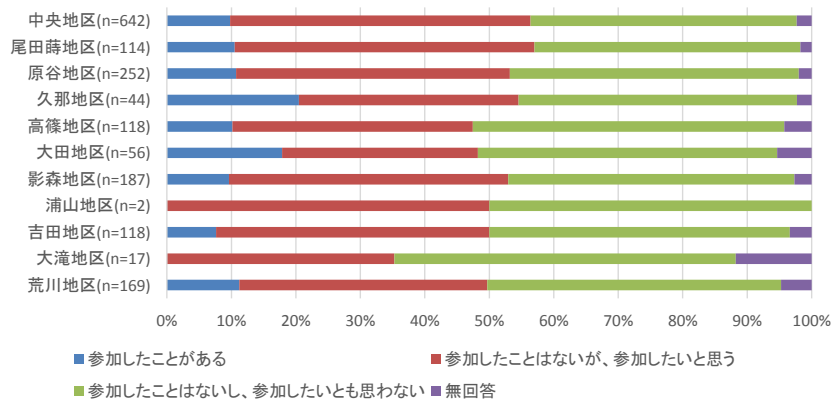


図 2-97 豊島区との交流活動の参加意向

【参考：豊島区民意識調査の秩父市に関する部分】

地方に移住してみたいと思うかを聞いたところ、「移住してみたい」(13.8%)と「どちらかというに移住してみたい」(18.9%)を合わせた“移住してみたい”は32.7%となっている。一方、「移住したくない」(38.5%)と「どちらかというに移住したくない」(27.2%)を合わせた“移住したくない”は65.7%となっている。

“移住してみたい”と回答した人に、姉妹都市であり移住に関する取組を連携して検討している埼玉県秩父市へ移住してみたいと思うかを聞いたところ、「秩父市に移住してみたい」(4.0%)と「どちらかというに秩父市に移住してみたい」(16.1%)を合わせた“秩父市に移住してみたい”は20.1%となっている。一方、「秩父市に移住したくない」(52.5%)と「どちらかというに秩父市に移住したくない」(25.0%)を合わせた“秩父市に移住したくない”は77.5%となっている。

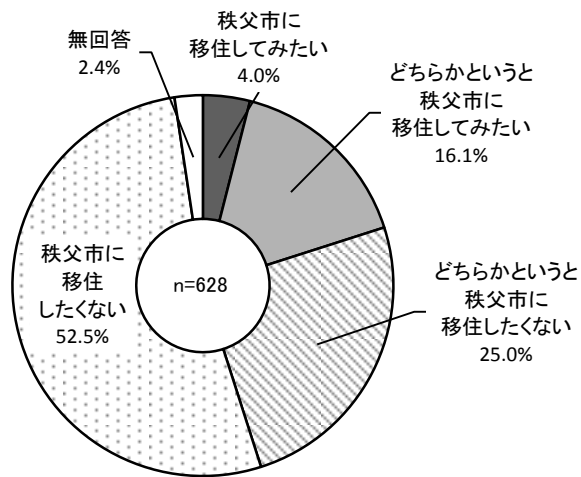


図 2-98 秩父市への移住意向 (豊島区民意識調査)

“秩父市に移住してみたい”と回答した人に、どのような理由で秩父市へ移住したいと思うかを聞いたところ、「自然が豊かだから」が87.3%と特に高く、次いで「豊島区と行き来しやすいから」(42.9%)、「観光でよく行くから」(18.3%)、「親しみのある場所だから」(17.5%)、「趣味を楽しめる場所だから」(15.1%)の順で続いている。

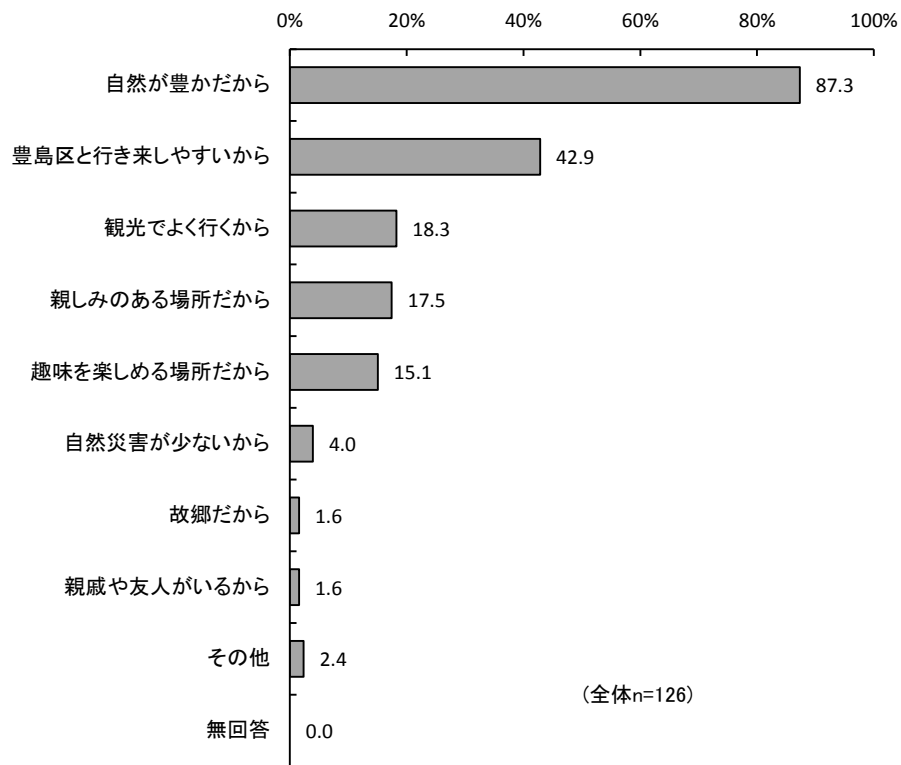


図 2-99 秩父市に移住したい理由（豊島区民意識調査）（再掲）

“秩父市に移住したくない”と回答した人に、どのような理由で秩父市へ移住したくないと思うかを聞いたところ、「親しみのない場所だから」(45.6%)と「秩父市についてよく知らないから」(45.4%)がともに高く、次に「交通が不便だから」(29.0%)が続いている。

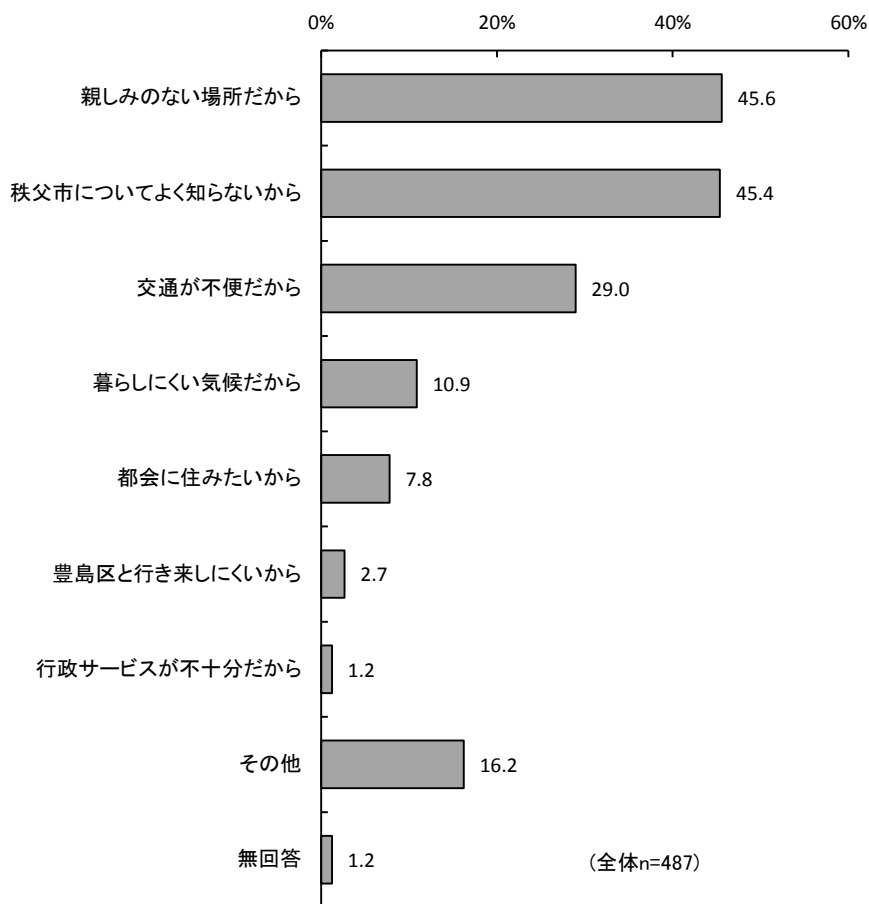


図 2-100 秩父市に移住したくない理由（豊島区民意識調査）（再掲）

「その他」の主な回答は次のとおり。

- ・秩父市への関心が低いから（15件）
- ・移住するならもっと遠方がよいから（13件）
- ・他の地域への移住を検討中、もしくは決定済みだから（12件）
- ・海がないから（9件）
- ・寒いから（3件）
- ・観光などでよく行くから（3件）
- ・勤務地から遠いから（3件）